# 第２章　全学副専攻　各副専攻　紹介

＜学術的副専攻＞

| | 副専攻名称 | コーディネーター（※代表者） | 所属 |
|---|---|---|---|
| 1 | 政治学 | 中村　英俊　※<br>谷澤　正嗣 | 政治経済学術院<br>政治経済学術院 |
| 2 | 経済学 | 荒木　一法　※<br>玉置　健一郎 | 政治経済学術院<br>政治経済学術院 |
| 3 | 人権と法 | 田山　聡美　※<br>箱井　崇史<br>田村　達久 | 法学学術院<br>法学学術院<br>法学学術院 |
| 4 | 会計学 | 八重倉　孝　※<br>鈴木　智英<br>清水　孝 | 商学学術院<br>商学学術院<br>商学学術院 |
| 5 | 社会イノベーション | 劉　傑　※<br>早田　宰<br>赤尾　健一 | 社会科学総合学術院<br>社会科学総合学術院<br>社会科学総合学術院 |
| 6 | アジアの歴史と伝統文化 | 飯山　知保　※<br>李　成市<br>工藤　元男 | 文学学術院<br>文学学術院<br>文学学術院 |
| 7 | 東洋の思想と宗教 | 渡邉　義浩　※<br>山部　能宣<br>大久保　良峻 | 文学学術院<br>文学学術院<br>文学学術院 |
| 8 | 日本語教育学 | 小宮　千鶴子　※<br>舘岡　洋子<br>蒲谷　宏 | 日本語教育研究科<br>日本語教育研究科<br>日本語教育研究科 |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 9　　19/02/15 10:59　v5.51

＜学際的副専攻＞

| | 副専攻名称 | コーディネーター（※代表者） | 所属 |
|---|---|---|---|
| 1 | 映画・映像 | 河合　隆史　※ | 理工学術院 |
| | | 高橋　恭子 | 政治経済学術院 |
| | | 谷　昌親 | 法学学術院 |
| | | 是枝　裕和 | 理工学術院 |
| | | 土田　環 | 理工学術院 |
| 2 | 演劇・舞台芸術 | 澤田　敬司　※ | 法学学術院 |
| | | 平林　宣和 | 政治経済学術院 |
| | | 冬木　ひろみ | 文学学術院 |
| | | 八木　斉子 | 政治経済学術院 |
| | | 吉田　裕 | 法学学術院 |
| | | 高井　詩穂 | 文学学術院 |
| 3 | 健康・医療 | 大島　登志男　※ | 理工学術院 |
| | | 須賀　晃一 | 政治経済学術院 |
| | | 野口　晴子 | 政治経済学術院 |
| | | 甲斐　克則 | 法学学術院 |
| 4 | ことばの科学 | 近藤　悠介　※ | グローバルエデュケーションセンター |
| | | 近藤　眞理子 | 国際学術院 |
| | | 匂坂　芳典 | 理工学術院 |
| | | 室井　禎之 | 政治経済学術院 |
| | | 乙黒　亮 | 法学学術院 |
| 5 | コリア研究 | 李　成市　※ | 文学学術院 |
| | | 布袋　敏博 | 国際学術院 |
| | | 金　敬黙 | 文学学術院 |
| 6 | サスティナビリティ学 | 宮崎　里司　※ | 日本語教育研究科 |
| | | 黒川　哲志 | 社会科学総合学術院 |
| | | 柏　雅之 | 人間科学学術院 |
| 7 | ジェンダー研究 | 弓削　尚子　※ | 法学学術院 |
| | | 木村　晶子 | 教育・総合科学学術院 |
| | | 村田　晶子 | 文学学術院 |
| 8 | 社会貢献とボランティア | 岩井　雪乃　※ | 平山郁夫記念ボランティアセンター |
| | | 兵藤　智佳 | 平山郁夫記念ボランティアセンター |
| | | 西村　正雄 | 文学学術院 |
| | | 平山　雄大 | 平山郁夫記念ボランティアセンター |
| 9 | ジャーナリズムとメディア表現 | 高橋　恭子　※ | 政治経済学術院 |
| | | 野中　章弘 | 教育・総合科学学術院 |
| | | 佐藤　洋一 | 社会科学総合学術院 |
| 10 | 台湾研究 | 若林　正丈　※ | 政治経済学術院 |
| | | 梅森　直之 | 政治経済学術院 |
| | | 劉　傑 | 社会科学総合学術院 |
| 11 | ドイツ研究 | 室井　禎之　※ | 政治経済学術院 |
| | | 村上　公子 | 人間科学学術院 |
| | | 生駒　美喜 | 政治経済学術院 |
| 12 | 都市・地域研究 | 早田　宰　※ | 社会科学総合学術院 |
| | | 有賀　隆 | 理工学術院 |
| | | 佐々木　葉 | 理工学術院 |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 10　　19/02/15 10:59　v5.51

# 政治学

*Political Science*

*政治経済学術院提供副専攻*

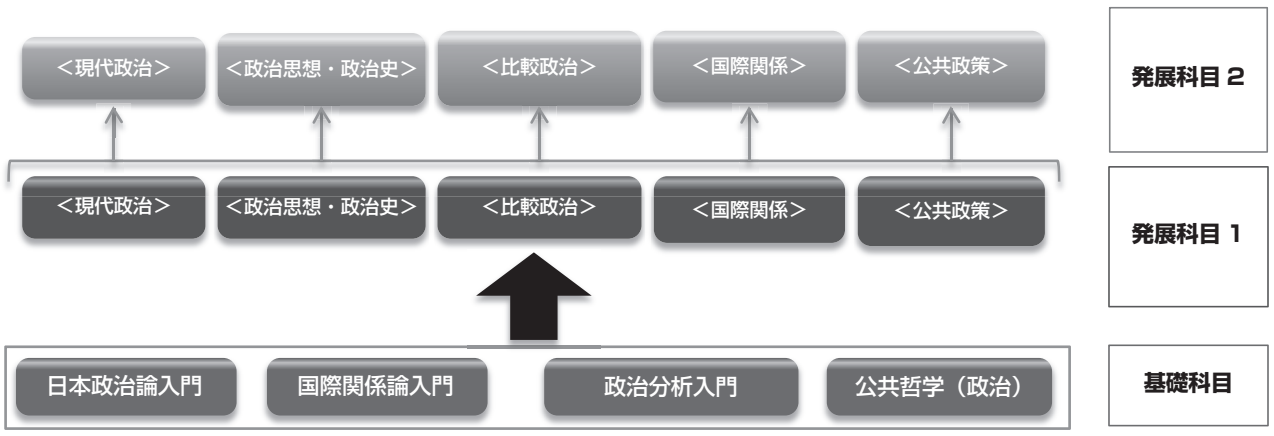
## 設置概要

政治経済学術院の政治学科目は、現代政治、政治思想・政治史、比較政治、国際関係、公共政策という５コア領域から構成され、研究対象領域も日本、地域、国際などに区分される。このような複数のコア領域と異なる対象領域をもつ政治学を基礎から理解するために、本副専攻は３段階の科目群から構成される。まず基礎科目においては、日本政治と国際関係の歴史・理論・問題点を学び、政治現象を分析し解釈するための理論・方法・概念を学ぶ。次に発展科目１においては、５コア領域の基幹科目が、さらに発展科目２においては、５コア領域の専門科目が配置されている。

## 到達点（学習成果）

履修学生には、日本政治と国際関係の歴史・理論・問題点、政治現象を分析し解釈するための基礎的な理論・方法・概念をすべて習得することが期待される。その後で、各履修生が自身の関心にしたがい、５コア領域から１つまたは２つの領域を選択し、当該領域の基幹科目・専門科目を履修することを通じて当該領域の政治学の大きな流れと主要な知見を習得することが期待される。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

まず、履修学生には、①日本政治論入門、②国際関係論入門、③政治分析入門、④公共哲学（政治）の基礎科目のすべてを履修することを薦める。それぞれが各分野の基礎知識を提供する。ただし、③と④は方法中心の科目であり、かなり内容が異なっている。③の政治分析入門は、政治現象を分析するための合理的選択理論や統計・計量分析手法を習得する科目であり、④の公共哲学（政治）は、政治現象を意味付けたり解釈するための規範理論や理念を習得する科目である。両科目を等しく履修することが理想的ではあるものの、学生個人の得手不得手があるので、いずれか一方を集中的に習得することも政治学を学習するための近道である。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 12 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

**※政治経済学部設置科目は、曜日時限、担当教員、学期などの情報が変更になる可能性があります。**
**正誤表にも反映されていない可能性がありますので、政治経済学部事務所に直接お問い合わせください。**

※備考欄の記載事項

追　加･･･2019年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

20単位（基礎科目：６単位、発展科目１：８単位、発展科目２：６単位）以上

## 注意事項

政治経済学部生は「政治学」副専攻を修了できません

### ★基礎科目

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 領域 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 日本政治論入門　01 | 吉野　孝 | １年以上 | 秋学期 | 月５時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 政経 | 政治分析入門　01 | 久米　郁男 | １年以上 | 春学期 | 月１時限<br>水１時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 政経 | 政治分析入門　02 | 久米　郁男 | １年以上 | 春学期 | 月１時限<br>木１時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 政経 | 政治分析入門　03 | 久米　郁男 | １年以上 | 秋学期 | 月１時限<br>水１時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 政経 | 政治分析入門　04 | 久米　郁男 | １年以上 | 秋学期 | 月１時限<br>木１時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 6 | 政経 | 国際関係論入門　01 | 多湖　淳 | １年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 7 | 政経 | 公共哲学（政治）01 | 齋藤　純一 | １年以上 | 春学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 8 | 政経 | 公共哲学（政治）02 | 齋藤　純一 | １年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 9 | 政経 | 公共哲学（政治）03 | 谷澤　正嗣 | １年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| － | 政経 | 政治理論入門　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 政治理論入門　02 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 政治理論入門　03 | | | | | | | | 取下げ |

### ★発展科目１

修了必要単位：８単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 領域 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 現代政治分析　01 | 吉野　孝 | ２年以上 | 春学期 | 月３時限<br>木３時限 | 早稲田 | 4 | 現代政治 | 2018年度以前科目名称：<br>「政治学原論」 |
| 2 | 政経 | 政治理論史　01 | 高山　裕二 | ２年以上 | 秋学期 | 金２時限<br>金３時限 | 早稲田 | 4 | 政治思想<br>・政治史 | |
| 3 | 政経 | 政治コミュニケーション　01 | 谷藤　悦史 | ２年以上 | 春学期 | 月２時限 | 早稲田 | 2 | 現代政治 | |
| 4 | 政経 | 憲法　01 | 川岸　令和 | ２年以上 | 春学期 | 月１時限<br>木１時限 | 早稲田 | 4 | 政治思想<br>・政治史 | |
| 5 | 政経 | 行政学　01 | 縣　公一郎 | ２年以上 | 秋学期 | フルオンデマンド | | 4 | 公共政策 | フルオンデマンド |
| 6 | 政経 | 公共政策　01 | 稲継　裕昭 | ２年以上 | 春学期 | 月４時限<br>＋オンデマンド | 早稲田 | 4 | 公共政策 | 2018年度以前科目名称：<br>「公共政策論」 |
| 7 | 政経 | 国際政治学　01 | 栗崎　周平 | ２年以上 | 春学期 | 月２時限<br>月３時限 | 早稲田 | 4 | 国際関係 | |
| 8 | 政経 | 比較政治学　01 | 久保　慶一 | ２年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 4 | 比較政治 | |
| 9 | 政経 | 国際関係史Ⅰ　01 | 田中　孝彦 | ２年以上 | 春学期 | 木３時限 | 早稲田 | 2 | 国際関係 | 2018年度以前科目名称：<br>「国際政治史」 |
| 10 | 政経 | 日本政治史　01 | 未定 | ２年以上 | 春学期 | 火２時限<br>火３時限 | 早稲田 | 4 | 政治思想<br>・政治史 | 2019年度より<br>発展２から発展１に変更 |
| 11 | 政経 | 国際社会関係論　01 | 都丸　潤子 | ２年以上 | 春学期 | 火２時限 | 早稲田 | 2 | 国際関係 | 2019年度より<br>発展２から発展１に変更 |
| 12 | 政経 | 東アジアの比較政治　01 | 唐　亮 | ３年以上 | 秋学期 | 月４時限 | 早稲田 | 2 | 比較政治 | 2018年度以前科目名称：<br>「地域研究（東アジア政治）」<br>2019年度より<br>発展２から発展１に変更 |
| － | 政経 | 政治コミュニケーション論Ａ　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 政治コミュニケーション論Ｂ　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 国際開発論　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 国際政治史　01 | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 13　　19/02/15 10:59　v5.51

## ★発展科目２

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 領域 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 西洋政治史　01 | 仲内　英三 | 2年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 4 | 政治思想・政治史 | |
| 2 | 政経 | 現代政治理論Ⅰ　01 | 谷澤　正嗣 | 2年以上 | 春学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | 政治思想・政治史 | 2018年度以前科目名称：「現代政治理論　01」 |
| 3 | 政経 | 現代政治理論Ⅱ　01 | 齋藤　純一 | 2年以上 | 秋学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | 政治思想・政治史 | 2018年度以前科目名称：「現代政治理論　01」 |
| 4 | 政経 | 日本政治思想史　01 | 遠藤　正敬 | 3年以上 | 春学期 | 水3時限<br>木3時限 | 早稲田 | 4 | 政治思想・政治史 | |
| 5 | 政経 | 比較憲法論　01 | 笹田　栄司 | 3年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | 政治思想・政治史 | 追加 |
| 6 | 政経 | 自治体政策　01 | 未定 | 2年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | 公共政策 | |
| 7 | 政経 | 国際行政学　01 | 福田　耕治 | 2年以上 | 春学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | 公共政策 | |
| 8 | 政経 | 国際機構論　01 | 中村　英俊 | 2年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | 国際関係 | |
| 9 | 政経 | 西欧諸国の比較政治　01 | 日野　愛郎 | 3年以上 | | | 早稲田 | 2 | 比較政治 | 追加<br>2019年度休講 |
| 10 | 政経 | 福祉行政　01 | 藤井　浩司 | 2年以上 | 春学期 | 金2時限 | 早稲田 | 2 | 公共政策 | 追加 |
| 11 | 政経 | 日本外交論　01 | 権　容ソク | 2年以上 | 秋学期 | 金5時限 | 早稲田 | 2 | 国際関係 | |
| 12 | 政経 | 東アジア論　01 | 紀　旭峰 | 3年以上 | 秋学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | 比較政治 | 2018年度以前科目名称：「地域研究（東アジアと日本政治思想）」 |
| 13 | 政経 | 地域研究（台湾地域研究論）　（地域研究入門・再履修者用） | 若林　正丈 | 3年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | 比較政治 | 2018年度以前科目名称：「地域研究（台湾地域研究論）」 |
| 14 | 政経 | 比較政治経済分析　01 | 久米　郁男 | 3年以上 | 秋学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | 現代政治 | 追加 |
| 15 | 政経 | 国際政治経済学　01 | 遠矢　浩規 | 3年以上 | 春学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | 国際関係 | 追加 |
| － | 政経 | 地域研究（中国政治） | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 地域研究（東アジア史）　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 国際政治思想　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 計量政治学　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 計量政治学　02 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 計量政治学　03 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 政治過程論　01 | | | | | | | | 取下げ |

※政治学副専攻指定科目は志望理由入力不要です





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 14　　19/02/15 10:59　v5.51

# 経済学
*Economics*

*政治経済学術院提供副専攻*

## 設置概要

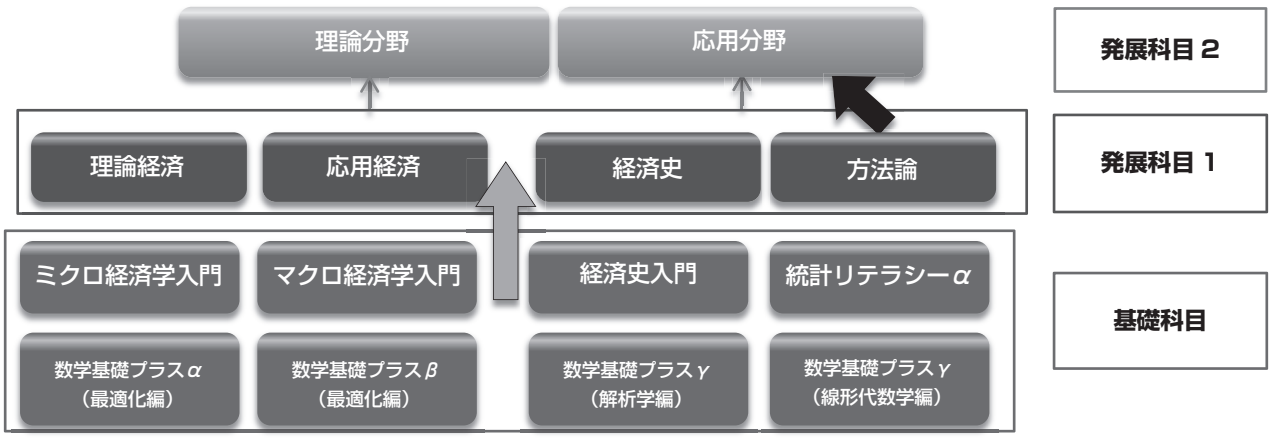
経済学を学ぶには、経済現象を多面的に理解するために基礎知識が必要である。これを提供するのが基礎科目であり、それにはミクロ経済学入門【必修】、マクロ経済学入門【必修】、経済史、統計リテラシーα、数学基礎プラスα（最適化編）【選択必修】、数学基礎プラスβ（最適化編）【選択必修】、数学基礎プラスγ（解析学編【選択必修】）、数学基礎プラスγ（線形代数学編）が含まれる。

基礎知識を獲得した上で取り組むのが、現在の経済現象の個別的な学問的知見を網羅する科目である。これが発展科目である。発展科目１は、理論経済（ミクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅰ、ゲーム理論入門）、応用経済（労働経済学、財政学）、経済史（日本経済史、西洋経済史、経済学史）、方法論（統計リテラシーβ）から構成される。発展科目２は、経済学で現在もっとも注目されている個別的な研究領域であり、それには理論分野（公共経済学、ゲーム理論、計量経済学）、応用分野（産業組織論、環境経済学、医療経済学）が含まれている。

## 到達点（学習成果）

理論モデルに基づいて経済現象を考察する思考力を養うことが期待できる。理論モデルを実際の問題に適用するには、種々の現象を整理し、ありうる因果関係を仮定した上で、その仮定のもとでどのような結論が得られるのかを注意深く考察する必要がある。対象が人間集団であることから、当該集団がどのような歴史を経て現在にいたったかも、理論モデル適用のために考慮しなければならない。そのように、理論的・歴史的な視点から社会現象を考察できるようになることが期待される。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

履修学生には、①ミクロ経済学入門、②マクロ経済学入門、③経済史入門、④統計リテラシーαという基礎科目をすべて履修することを薦める。それぞれが経済学を理解するために必要な基礎知識を提供する。ただし、③と④は内容において異なる。③の経済史入門は、経済現象や経済学の発展の歴史的知見を習得する科目であり、④の統計リテラシーαは、経済現象を学生自身で分析するための統計・数量分析の方法を習得する科目である。学生個人の選好にしたがい、いずれか一方を集中的に習得することも可能であるものの、経済学の理解のためにはいずれの方法の理解も必要である。また、統計リテラシーβは、環境経済学や計量経済学の学習に必要である。さらに、発展科目２には、理論・応用両面において高度な知識が必要とされる。経済学科目の中でも難しい部類に属するので、十分な準備をしてから履修することを勧める。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 16 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

**※政治経済学部設置科目は、曜日時限、担当教員、学期などの情報が変更になる可能性があります。**
**正誤表にも反映されていない可能性がありますので、政治経済学部事務所に直接お問い合わせください。**

※備考欄の記載事項

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

22単位（基礎科目：８単位、発展科目１：８単位、発展科目２：６単位）以上

## 注意事項

政治経済学部生は「経済学」副専攻を修了できません

### ★基礎科目

修了必要単位：８単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 経済史入門A　01 | 本野　英一 | 1年以上 | 春学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 政経 | 経済史入門A　02 | 小林　和夫 | 1年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 政経 | 経済史入門B　01 | 川口　浩 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 政経 | 経済史入門B　02 | 鎮目　雅人 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 政経 | ミクロ経済学入門　01 | 田中　久稔 他 | 1年以上 | 春学期 | 火1時限<br>土1時限 | 早稲田 | 2 | | 履修必須　(01･02･03･04･05･06のどれか)<br>自学部優先科目 |
| 6 | 政経 | ミクロ経済学入門　02 | 田中　久稔 他 | 1年以上 | 春学期 | 火1時限<br>土1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | 政経 | ミクロ経済学入門　03 | 田中　久稔 他 | 1年以上 | 春学期 | 火1時限<br>土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | 政経 | ミクロ経済学入門　04 | 田中　久稔 | 1年以上 | 春学期 | 火2時限<br>金1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | 政経 | ミクロ経済学入門　05 | 田中　久稔 | 1年以上 | 春学期 | 火2時限<br>土1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | 政経 | ミクロ経済学入門　06 | 田中　久稔 | 1年以上 | 春学期 | 火2時限<br>土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 11 | 政経 | マクロ経済学入門　01 | 金子　昭彦 他 | 1年以上 | 秋学期 | 火1時限<br>土1時限 | 早稲田 | 2 | | 履修必須　(01･02･03･04･05･06のどれか)<br>自学部優先科目 |
| 12 | 政経 | マクロ経済学入門　02 | 金子　昭彦 他 | 1年以上 | 秋学期 | 火1時限<br>土1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 13 | 政経 | マクロ経済学入門　03 | 金子　昭彦 他 | 1年以上 | 秋学期 | 火1時限<br>土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 14 | 政経 | マクロ経済学入門　04 | 金子　昭彦 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限<br>金1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 15 | 政経 | マクロ経済学入門　05 | 金子　昭彦 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限<br>土1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 16 | 政経 | マクロ経済学入門　06 | 金子　昭彦 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限<br>土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 17 | GEC | 数学基礎プラスα（最適化編）　01 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 夏クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | 履修必須<br>「数学基礎プラスα（最適化編）」<br>「数学基礎プラスβ（最適化編）」<br>「数学基礎プラスγ（解析学編）」<br>のうち、2科目（2単位分）を履修必須。 |
| 18 | GEC | 数学基礎プラスα（最適化編）　02 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 秋クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 19 | GEC | 数学基礎プラスβ（最適化編）　01 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 夏クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 20 | GEC | 数学基礎プラスβ（最適化編）　02 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 秋クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 21 | GEC | 数学基礎プラスγ（解析学編）　01 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 夏クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 22 | GEC | 数学基礎プラスγ（解析学編）　02 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 秋クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 23 | GEC | 数学基礎プラスγ（線形代数学編）　01 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 夏クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 24 | GEC | 数学基礎プラスγ（線形代数学編）　02 | 高木　悟 他 | 1年以上 | 秋クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| 25 | GEC | 統計リテラシーα　01～04 | 鎌塚　明 他 | 1年以上 | 各クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |

### ★発展科目１

修了必要単位：８単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | ミクロ経済学A　01 | 永田　良 | 2年以上 | 春学期 | 水2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 政経 | ミクロ経済学A　02 | 笠松　学 | 2年以上 | 春学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 政経 | ミクロ経済学A　03 | 荒木　一法 | 2年以上 | 春学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 政経 | ミクロ経済学A　04 | 荻沼　隆 | 2年以上 | 秋学期 | 水2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 政経 | マクロ経済学A　01 | 金子　昭彦 | 2年以上 | 春学期 | 火1時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 6 | 政経 | マクロ経済学A　02 | 笠松　学 | 2年以上 | 春学期 | 金3時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 7 | 政経 | マクロ経済学A　03 | | 2年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 8 | 政経 | マクロ経済学A　04 | 片山　宗親 | 2年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 9 | 政経 | 経済学史Ⅰ　01 | 坂本　達哉 | 2年以上 | 春学期 | 水2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | 政経 | 日本経済史　01 | 川口　浩 | 2年以上 | 春学期 | 木2時限<br>金2時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 11 | 政経 | 西洋経済史　01 | 内田　日出海 | 2年以上 | 秋学期 | 月2時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 12 | 政経 | 財政学　01 | 小西　秀樹 | 2年以上 | 春学期 | 水2時限<br>木2時限 | 早稲田 | 4 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 17　　19/02/15 10:59　v5.51

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 政経 | 労働経済学Ⅰ　01 | 村上　由紀子 | 2年以上 | 春学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 14 | 政経 | ゲーム理論入門　01 | 荻沼　隆 | 1年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 15 | 政経 | ゲーム理論入門　02 | 荒木　一法 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 16 | 政経 | ゲーム理論入門　03 | 未定 | 1年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 17 | GEC | 統計リテラシーβ　01～04 | 鎌塚　明 他 | 1年以上 | 各クォーター | フルオンデマンド | | 1 | | |
| － | 政経 | 社会政策　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 政経 | 社会政策　02 | | | | | | | | 取下げ |

## ★発展科目2

修了必要単位：6単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 計量経済学　01 | 近藤　康之 | 2年以上 | 春学期 | 土2時限<br>＋オンデマンド | 早稲田 | 4 | | |
| 2 | 政経 | 公共経済学　01 | 安達　剛 | 3年以上 | 春クォーター | 月1時限<br>月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 政経 | 産業組織論　01 | 遠山　祐太 | 3年以上 | 春学期 | 金2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 政経 | ゲーム理論　01 | 近郷　匠 | 2年以上 | 秋学期 | 火4時限<br>火5時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 5 | 政経 | 環境経済学　01 | 中井　美和 | 3年以上 | 春学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 政経 | 医療経済学　01 | 野口　晴子 | 3年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | |
| － | 政経 | 計量経済学　02 | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 18　　19/02/15 10:59　v5.51

# 人権と法

*Human rights and Law*

*法学学術院提供副専攻*

## 設置概要

法学部は、法律の専門知識を体系的に学び、法的思考力を養成することを主たる目的としています。法とは何か。この問い自体が大変難しいのですが、とりあえず、人間社会の営みを律する規範の一つとしておきましょう。もう少し具体的に、人と人との間の権利義務関係を調整するルールといってもよいです。そして、副専攻「人権と法」は、法の中でも、特に人権を保障する法の仕組みに焦点を当てるものです。

さて、皆さんは「人権」という言葉にどのようなイメージを持っているでしょうか。巷には、人権擁護、人権侵害、といった表現があふれています。そもそも「人権」とは一体何でしょうか。「権利」と同じものでしょうか。あるいは、皆さんは日常生活を送る中で、自分には人権が保障されていると強く意識することがあるでしょうか。あるとすれば、それはどのような場合でしょうか。また仮にないとすれば、それはなぜでしょうか。

この副専攻では、憲法を中心に、幅広い分野での「人権の現在」を学んでいくことになります。まずは基礎科目において、憲法による人権保障のあり方や、人権の歴史を概観することで、「法の支配」という考え方を身につけてもらいます。引き続き、発展科目①では、外国の状況とも比較しながら、さらに理解を深め、この段階で、皆さんは人権保障についての大きな見取り図を得ることになるでしょう。発展科目②は、以上を前提に、個別具体的な場面で、現代にあっては、いかなる人権問題が存在し、法はどのように対処しているのかを、つぶさに見ていくことになります。例えば、教育格差や、移民・難民の問題、性差別やLGBTをめぐる状況、過労死やブラックバイト、年金・生活保護といったテーマは、皆さんにも馴染みのあるものではないでしょうか。

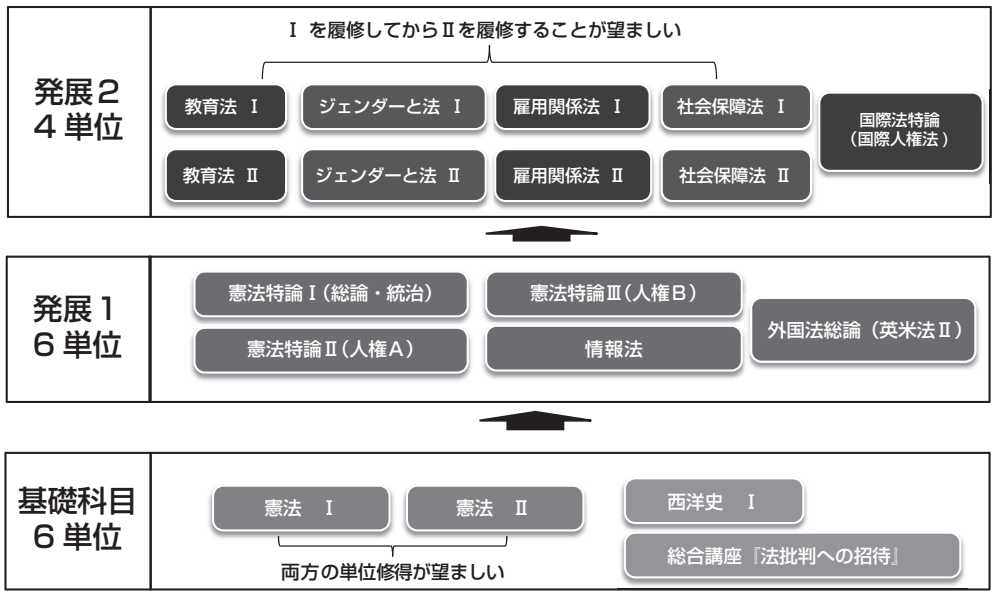
法と権利は表裏一体のものだと喝破したのはイェーリングという法学者でした（彼の『権利のための闘争』は必読書です）。また「権利の上に眠るものは保護に値せず」という有名な法格言もあります。つまり、人権保障の仕組みは、長きにわたる闘いの成果に他ならず、しかも、闘いは果てることなく続くものなのです。皆さん一人ひとりが人権享有主体なのですから、他の誰でもない、まさに自分の問題として、「人権と法」を考えてみませんか。

## 到達点（学習成果）

一般に、法律の学習は語学のそれに似ているといわれます。法律の用語や考え方は、単語や文法・構文にあたるものであり、そうした基礎的な知識を習得することから始めて、一歩一歩、積み上げてゆかねばなりません。したがって、副専攻に設置されている法律科目をつまみ食い的に履修しても、真の意味で理解することは難しいでしょうし、また得るものも少ないでしょう。副専攻とはいえ、体系的に履修することが求められるゆえんです。最初は雲をつかむようで全く手応えがないかもしれません。けれども、知識量や理解度が一定レベルまで蓄積されると、突如として視界が開ける瞬間が訪れるはずです。このとき皆さんはリーガルマインド（法を通じて社会現象を捉えられる目）を獲得したといってもよいでしょう。法学の履修を通じて、皆さんは、それまでとはモノの見え方が、がらりと違ってくるという経験ができるはずです。



## カリキュラムマップ






2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 20 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項
　　自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：６単位、発展科目１：６単位、発展科目２：４単位）以上

## 注意事項

法学部生は「人権と法」副専攻を修了できません
本副専攻の修了を目指さない学生は、指定科目を履修しないこと

### ★基礎科目

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 総合講座『法批判への招待』 | 弓削　尚子　他 | １年以上 | 秋学期 | 木６時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 法学 | 西洋史Ⅰ　B（弓削） | 弓削　尚子 | １年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 法学 | 西洋史Ⅰ　A（水林） | 水林　章 | １年以上 | 春学期 | 水２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 法学 | 憲法Ⅰ　A | 長谷部　恭男 | １年以上 | 春学期 | 月５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 法学 | 憲法Ⅰ　B | 中島　徹 | １年以上 | 春学期 | 木３時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 6 | 法学 | 憲法Ⅰ　C | 水島　朝穂 | １年以上 | 春学期 | 金５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 7 | 法学 | 憲法Ⅱ　A | 長谷部　恭男 | １年以上 | 秋学期 | 月５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 8 | 法学 | 憲法Ⅱ　B | 中島　徹 | １年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 9 | 法学 | 憲法Ⅱ　C | 水島　朝穂 | １年以上 | 秋学期 | 金５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |

### ★発展科目１

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 外国法総論（英米法Ⅱ）　A | 中村　民雄 | ２年以上 | 秋学期 | 水２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 法学 | 憲法特論Ⅰ（総論・統治） | 中島　徹 | ２年以上 | 春学期 | 月３時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 法学 | 憲法特論Ⅱ（人権A） | 江原　勝行 | ２年以上 | 春学期 | 水２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 法学 | 憲法特論Ⅲ（人権B） | 金澤　孝 | ２年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 法学 | 情報法 | 田島　泰彦 | ２年以上 | 春学期 | 月３時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |

### ★発展科目２

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | ジェンダーと法Ⅰ | 石田　京子 | ３年以上 | 春学期 | 火５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 法学 | ジェンダーと法Ⅱ | 谷田川　知恵 | ３年以上 | 秋学期 | 金２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 法学 | 雇用関係法Ⅰ | 島田　陽一 | ３年以上 | 春学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 法学 | 雇用関係法Ⅱ | 島田　陽一 | ３年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 法学 | 社会保障法Ⅰ | 菊池　馨実 | ３年以上 | 春学期 | 木４時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 6 | 法学 | 社会保障法Ⅱ | 菊池　馨実 | ３年以上 | 秋学期 | 木４時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 7 | 法学 | 国際法特論（国際人権法） | | ３年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 8 | 法学 | 教育法Ⅰ | 廣澤　明 | ２年以上 | 春学期 | 火５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 9 | 法学 | 教育法Ⅱ | 廣澤　明 | ２年以上 | 秋学期 | 火５時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |

## 履修を希望する学生へのメッセージ

　他学部の皆さんの中には、法律という専門科目は、自分の専攻分野とは全く関係のないものだと考えている方もおられるかもしれません。しかしながら、一見すると、いかにかけ離れているようにみえても、是非、皆さん自身の専攻分野の知識を活かしつつ、共通点・類似点・相違点は何であろうかと、想像力を働かせながら学ぶことをお勧めします。なぜならば、法律は人間が人間のために定めた法（これを実定法と言います）であり、皆さんの専攻分野も、つまるところ何らかの形で人間の営みに関するもののはずだからです。理系分野は違うのではないかという声が聞こえてきそうですが、法律学が優れて論理的な学問だということは耳にしたことがあるはず です。けっして無縁ではありません。皆さん自身の主専攻分野と有機的に関連させることで相乗効果が生まれるのではないか、ということを、我々は密かに期待しています。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 21　　19/02/15 10:59　v5.51

# 社会イノベーション

*Social Innovation*

*社会科学総合学術院提供副専攻*

## 設置概要

グローバル課題の解決に向けて社会を変革する「ソーシャルイノベーター」が備えるべき、具体的な問題解決の提案力を学ぶ。

基礎として、学際的な理解を深める。重点課題として、①コミュニティ・社会開発、②平和構築・国際協力、③経済・環境持続可能性、④社会組織・働き方、の４つのテーマを設定する。

発展１として、臨床的なフィールドワークと国際的な理論研究の往還による分析で理解を深め、問題解決の糸口、社会的アクションの意義やそのきっかけのあり方を学ぶ。とくに地球規模のパースペクティブと現代日本からのパースペクティブを重視する。

さらに発展２として、効果的で持続可能な問題解決（社会イノベーション）のための実践知・専門知を養い、社会構想力を発揮するための基礎的な知識、スキル、プロフェッショナルとしての素養を習得する。

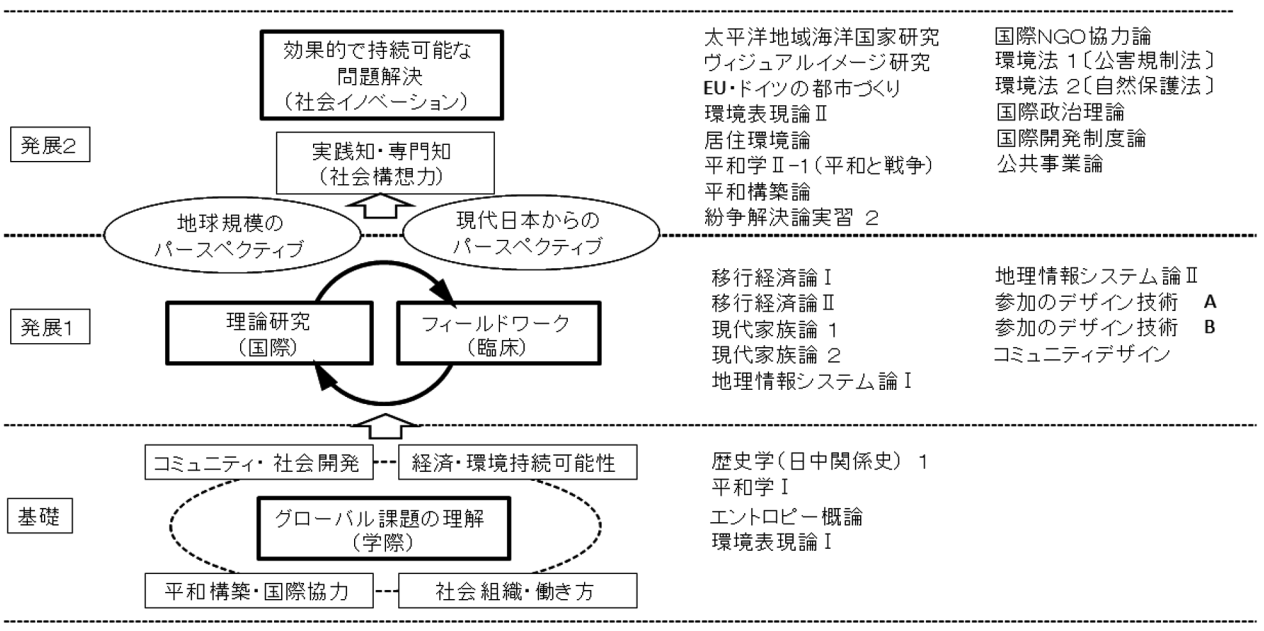
## 到達点（学習成果）

未知の問題や危機に対して、豊かな人間性とたくましい実践力を育み、豊かで多様な見方、感じ方、考え方を広げ、確かな現実認識と思考により、事物の全体像の中で自らが立てた問題意識を位置づけ、意味、その価値に気づき、社会創造に意識を向かわせることができる。

確かな学術的方法にもとづき社会の本質理解（法則・普遍性・一般性）を深めることができる。

さらに、思考と行動のフィードバック回路を確立し、矛盾（不合理や葛藤）を自らそして多様なステイクホルダーやコミュニティと対話しながら社会的に乗り越えることができる。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

地球規模や地域社会の現実的な課題、未来の危機に対して、社会的な対話を広げながら、現実的な問題解決策を提起できる真に国際社会の転換に貢献できる人材を育成する。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 24 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：６単位、発展科目１：４単位、発展科目２：６単位）以上

### ★基礎科目

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 歴史学（日中関係史） 1 | 劉　傑 | 1年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | エントロピー概論 | 輪湖　博 | 1年以上 | 秋学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 環境表現論 Ⅰ | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 4 | 社学 | 平和学 Ⅰ | 多賀　秀敏 | 1年以上 | 春学期 | フルオンデマンド | | 2 | | |

### ★発展科目１

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 現代家族論 1 | 小島　宏 | 1年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | 現代家族論 2 | 小島　宏 | 1年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 地理情報システム論 Ⅰ | 大場　亨 | 1年以上 | 春学期 | 土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 移行経済論 Ⅰ | トラン ヴァン トゥ | 2年以上 | 春学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 社学 | 移行経済論 Ⅱ | トラン ヴァン トゥ | 2年以上 | 秋学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 社学 | 地理情報システム論 Ⅱ | 大場　亨 | 1年以上 | 秋学期 | 土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | 社学 | コミュニティデザイン | 卯月　盛夫 | 1年以上 | 春学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | 社学 | 参加のデザイン技術　A | 卯月　盛夫 | 1年以上 | 春学期 | 金6時限<br>金7時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 9 | 社学 | 参加のデザイン技術　B | 百武　ひろ子 | 1年以上 | 春学期 | 金6時限<br>金7時限 | 早稲田 | 4 | | |

### ★発展科目２

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 国際政治理論 | 奥迫　元 | 3年以上 | 春学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | 太平洋地域海洋国家研究 | 奥迫　元 | 3年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 国際NGO協力論 | 山田　満 | 3年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 国際開発制度論 | 利根川　佳子 | 3年以上 | 秋学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 社学 | 平和構築論 | 山田　満 | 3年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 社学 | 環境法 1〔公害規制法〕 | 黒川　哲志 | 3年以上 | 春学期 | 水3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | 社学 | 環境法 2〔自然保護法〕 | 黒川　哲志 | 3年以上 | 秋学期 | 水3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | 社学 | EU・ドイツの都市づくり | 卯月　盛夫 | 2年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | 社学 | 公共事業論 | 卯月　盛夫 | 2年以上 | 秋学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | 社学 | 環境表現論 Ⅱ | | 2年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 11 | 社学 | ヴィジュアルイメージ研究 | 洞ヶ瀬　真人 | 2年以上 | 秋学期 | 金4時限<br>金5時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 12 | 社学 | 紛争解決論実習 2 | 奥迫　元 | 3年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 早稲田 | 2 | | |
| 13 | 社学 | 平和学 Ⅱ－1（平和と戦争） | 多賀　秀敏 | 2年以上 | 秋学期 | フルオンデマンド | | 2 | | |
| 14 | 社学 | 居住環境論 | 早田　宰 | 3年以上 | 秋学期 | 水3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| － | 社学 | 第三世界論 | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 25　　19/02/15 10:59　v5.51

# アジアの歴史と伝統文化

*History and Traditional Cultures of Asia*

*文学学術院提供副専攻*

## 設置概要

「アジアの歴史と伝統文化」副専攻では、中国を中心として、朝鮮半島、さらには周辺地域も含めた「東アジア地域」の歴史と文化を専門的に学習します。近年、東アジアと日本とのかかわりは、ますますその重要性を高めています。本副専攻は、史料にもとづいて歴史的に物事を見る目を養い、日本と東アジア世界との間に現実に起こっていることを正しく把握し、考える力を持った学生を育てることを目指しています。

歴史研究は、まず史料の解読、批判からはじめなければなりません。本副専攻が対象とする領域の関係史料は、漢文、朝鮮文、モンゴル文、満洲文、チベット文、サンスクリット文、トルコ文、ペルシア文、アラビア文等、極めて多岐にわたっていますが、本副専攻はとくに東アジアのほとんど全域に関し、もっとも豊富に史料を残している漢文テキストを主として、史料批判を訓練します。史料批判の訓練は、同時に、歴史的思考法の修練である。そのようにして体得した技術により、各自の個別研究を深め、それによって新しい世界をひらいて行くことを、本副専攻の教育方針としています。

史料解読と東アジア地域の多様な歴史経験を理解する視野を培うなかで、本副専攻では、アジア諸民族の歴史と文化の学習・研究によって、それぞれの民族がもつ固有な価値体系を究明し、多元的な価値認識を基礎とした統一ある世界史像を構成することを志向しています。明日の社会に生き、明日の社会を担って行くべき者は、そのような、より高次元な世界史像をもつものでなければならないからです。

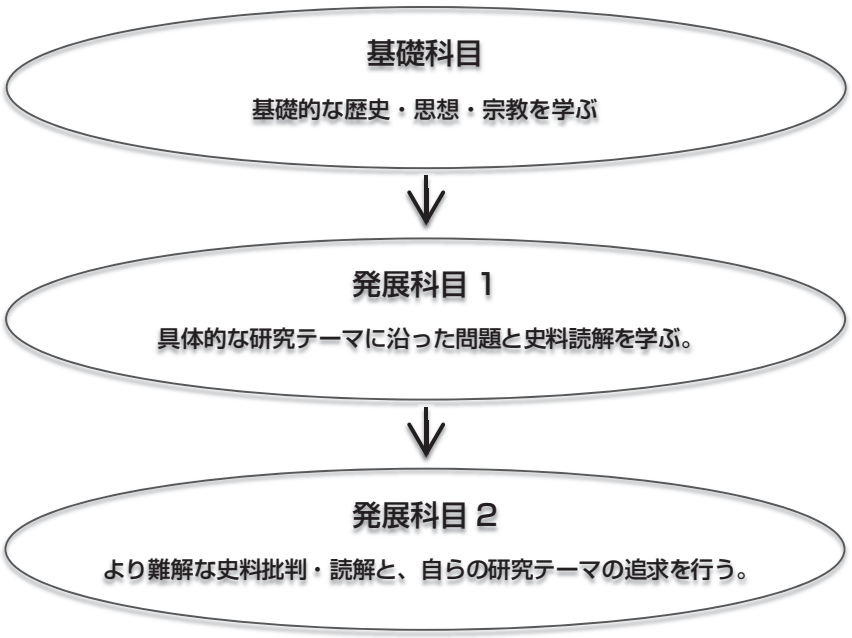
## 到達点（学習成果）

中国や朝鮮半島を中心とする東アジアと日本とのかかわりは、ますますその重要性を高めています。本副専攻は、史料にもとづいて歴史的に物事を見る眼を養い、日本と東アジア世界との間に現実に起こっていることを正しく把握し、考える力を持った学生を育てることを目指しています。中国・朝鮮の歴史研究においては、これまでに伝わる文献史料のほかに新たに出土した木簡・竹簡・石碑などの文字資料を組み合わせ、考古学的な視点をも導入した新領域の開拓に力を注いでいます。一例として、「フィールド歴史学」がそれにあたります。

後期伝統中国史（前近代史）においては、東アジア全体を視野に入れ、社会史・文化史など多様な観点を取り入れて新しい歴史像を追究します。辛亥革命後の中国やアジア地域の近現代史をも考察の対象としています。他方、朝鮮史では、中国大陸や日本列島との関連を重視した東アジア史における展開とその位置づけに注目します。



## カリキュラムマップ






2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 26 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：８単位、発展科目１：４単位、発展科目２：４単位）以上

## 注意事項

2017年度以降文化構想学部・文学部入学生は、文化構想学部・文学部副専攻（「アジアの歴史と伝統文化」）を履修してください。
2016年度以前文化構想学部・文学部入学生（2017年度入学の転部入学者、2017年度・2018年度入学の学士入学者を含む）は、本副専攻（GEC設置）を履修してください。

再入学者は、2016年度以前要項適用の場合は本副専攻（GEC設置）を履修し、2017年度以降要項適用の場合は文化構想学部・文学部副専攻を履修してください。要項適用年度について不明な場合は、文学学術院事務所までお問い合わせください。

### ★基礎科目

修了必要単位：８単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 地域文化研究（東アジア） 01 | 平林　宣和 他 | 2年以上 | 春学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | 漢字文化圏論 1 | 笹原　宏之 | 1年以上 | 春学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 漢字文化圏論 2 | 笹原　宏之 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 文構 | アジアの地域・都市の歴史 | 加藤　圭木 | 2年以上 | 秋学期 | 月3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 5 | 文 | 仏教概論 | 山部　能宜 | 2年以上 | 春学期 | 金2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 6 | 文 | 儒教概論 | 梶田　祥嗣 | 2年以上 | 春学期 | 水4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | 文 | 道教概論 | 森　由利亜 | 2年以上 | 秋学期 | 土2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 文 | アジア史概論1 | 工藤　元男　他 | 2年以上 | 春学期 | 金2時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 9 | 文 | アジア史概論2 | 柳澤　明　他 | 2年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 10 | 文 | アジア史学発達史1 | 小二田　章 | 1年以上 | 春学期 | 木3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 11 | 文 | アジア考古学交流 | 城倉　正祥 | 2年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 戸山 | 2 | | |
| － | 文構 | ヨーロッパ・地中海・イスラーム文化研究1 | | | | | | | | 取下げ |

### ★発展科目１

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文構 | アジア地域社会論 | 日吉　秀松 | 2年以上 | 春学期 | 月3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 2 | 文 | フィールド歴史学（東アジア） | 工藤　元男　他 | 2年以上 | 秋学期 | 火6時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 文 | 朝鮮近現代史 | 三ツ井　崇 | 2年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 文 | 東南アジア史 | 太田　淳 | 2年以上 | 春学期 | 金4時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |

### ★発展科目２

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文 | アジア史特殊講義１（中国古代史） | 工藤　元男 | 2年以上 | 秋学期 | 月2時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 文 | アジア史特殊講義２（朝鮮前近代史） | 李　成市 | 2年以上 | 春学期 | 火2時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 文 | アジア史特殊講義３（中国前近代史） | 飯山　知保 | 2年以上 | 春学期 | 月2時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 文 | アジア史特殊講義４（東アジア近現代史） | 柳澤　明 | 2年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |

## 履修を希望する学生へのメッセージ

東アジア地域に横たわるさまざまな問題について、それがなぜ起こったのかという問題意識を持ってアジアの歴史と伝統文化を学んでください。歴史学は、過去と現在をつなぐ非常に面白い学問です。単に過去の失われたものをいつくしむのが歴史学ではありません。また、過去の止まった一点だけをじっと見る学問でもありません。われわれが目指すのは、過去が現在にどう結びつくのか、その接点を見出し、それを現代の問題を理解し、解決するための糧とする学問です。たとえば、前近代の史料に記されていることが、実は脈々と現在にまで受け継がれている、それを知ることで、現今の問題を立体的に捉えることができるのです。

日本と中国や朝鮮半島との間で現在起こっている問題についても、単純に、感情的に見ているだけでは偏狭なナショナリズムしか生み出しません。また、中国・台湾や韓国といった、東アジア地域の諸国家の現状を理解し、自らの考えをもってそれらの将来的な動向を捉えてゆくためには、歴史的な分析能力が不可欠です。歴史学を通して、物事を複合的な視点から解釈する方法を学びましょう。

また、本副専攻の母体であるアジア史コースでは、これまで新しいアジア学の創生や資料のデジタル化などのプロジェクトを通じ、新たな歴史学の構築に向けて積極的に取り組んできました。本副専攻のカリキュラムには、上記のような基本方針を踏まえつつ、そうした学術成果が最大限に盛り込まれています。さらに長い伝統を有する東洋史学の蓄積を反映させ、東アジアの歴史を風土や地理とのかかわりから構造的・立体的に捉えることができる構成となっています。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 27　19/02/15 10:59 v5.51

# 東洋の思想と宗教

*Thought and Religion of Asia*

*文学学術院提供副専攻*

## 設置概要

「東洋の思想と宗教」副専攻では、インド・中国・日本という三国を中心とした思想と宗教を広く体系的に学習します。近年、東洋の思想と宗教は、ヨーロッパやイスラム世界のそれと対峙するものとして、その重要性を高めています。本副専攻は、地域をまたぐ広い視野を持って物事を見る目を養い、インド・中国・日本の思想と宗教を正しく理解し、考える力を持った学生を育てることを目指しています。

思想と宗教の研究は、資料の解読が必須となります。本副専攻が対象とする領域の関係資料は、漢文、サンスクリット語が中心となります。本副専攻は、東洋の多くの地域に関し、もっとも豊富に資料を残している漢文テキストを主として、資料講読を訓練します。もちろん、インドを深く勉強したい場合には、サンスクリット語の習得が必要となります。資料を講読していく訓練は、思想と宗教を理解していくための修練となります。その結果、体得した読解力によって、各自の個別研究を深め、それによって新しい世界をひらいて行くことを、本副専攻の教育方針としています。

## 到達点（学習成果）

本副専攻は、インド・中国・日本における思想と宗教について、広い知識と深い洞察力を涵養することを目標とします。それをさらなる高みに導くためには、資料の読解力が必要となりますが、その基本を身につけることも目標としています。

## カリキュラムマップ

**基礎科目**

基礎的な思想と宗教、漢文・サンスクリット語の基礎を学ぶ。

↓

**発展科目 1**

さまざまな境域の思想と宗教を幅広く学ぶ。

↓

**発展科目 2**

より難解な思想と宗教を学び、自らの研究テーマの追求を行う。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 28 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：６単位、発展科目１：６単位、発展科目２：４単位）以上

## 注意事項

2017年度以降文化構想学部・文学部入学生は、文化構想学部・文学部副専攻（「東洋哲学」）を履修してください。
2016年度以前文化構想学部・文学部入学生（2017年度入学の転部入学者、2017年度・2018年度入学の学士入学者を含む）は、本副専攻（GEC設置）を履修してください。

再入学者は、2016年度以前要項適用の場合は本副専攻（GEC設置）を履修し、2017年度以降要項適用の場合は文化構想学部・文学部副専攻副専攻を履修してください。要項適用年度について不明な場合は、文学学術院事務所までお問い合わせください。

### ★基礎科目

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文構 | チベット文化論 | 伊藤　康裕 | １年以上 | 秋学期 | 木６時限 | 戸山 | 2 | | |
| 2 | 文構 | 神道概論 | 久野　俊彦 | １年以上 | 春学期 | 水５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 3 | 文 | サンスクリットの世界１ | 齋藤　直樹　他 | １年以上 | 春学期 | 水５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | 文 | サンスクリットの世界２ | 林　慶仁　他 | １年以上 | 秋学期 | 水５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 5 | 文 | 漢文講読１ | 渡邉　義浩 | １年以上 | 春学期 | 月５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 6 | 文 | 漢文講読２ | 大久保　良峻 | １年以上 | 秋学期 | 金５時限 | 戸山 | 2 | | |

### ★発展科目１

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文 | インド思想史 | 山部　能宜 | ２年以上 | 秋学期 | 金２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 2 | 文 | 中国思想の世界 | 土田　健次郎 | ２年以上 | 秋学期 | 金４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 3 | 文 | 仏教漢文の世界 | 大久保　良峻 | ２年以上 | 春学期 | 金５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | 文 | 仏教概論 | 山部　能宜 | ２年以上 | 春学期 | 金２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 5 | 文 | 儒教概論 | 梶田　祥嗣 | ２年以上 | 春学期 | 水４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 6 | 文 | 道教概論 | 森　由利亜 | ２年以上 | 秋学期 | 土２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | 文 | 日本思想概論 | 吉原　浩人 | ２年以上 | 秋学期 | 火４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 文 | 日本中世思想 | 松本　知己 | ２年以上 | 春学期 | 火１時限 | 戸山 | 2 | | |
| 9 | 文 | 日本近世思想 | 大場　一央 | ２年以上 | 秋学期 | 月２時限 | 戸山 | 2 | | |

### ★発展科目２

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文 | インド哲学特論 | 齋藤　直樹 | ２年以上 | 春学期 | 金６時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 文 | 中国哲学特論 | 原　信太郎　アレシャンドレ | ２年以上 | 春学期 | 月３時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 文 | 日本思想特論 | 大久保　良峻　他 | ２年以上 | 春学期 | 火５時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 文 | 東洋思想特論 | 江波戸　亙 | ２年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |

## 履修を希望する学生へのメッセージ

インド・中国・日本における思想と宗教について、幅広く学んでいきます。扱う範囲は、インド思想・仏教・儒教・道教・神道などさまざまな領域にわたります。漢文やサンスクリットの基礎を学ぶこともできます。東洋思想は今や世界の思想でもあり、海外の人々も多く勉学にいそしんでいます。また、日本を理解するためにも、東洋の思想と宗教を知ることは不可欠です。国際人として東洋の思想と宗教を履修してみませんか。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 29　　19/02/15 10:59　v5.51

# 会計学
*Accounting*

*商学学術院提供副専攻*

## 設置概要

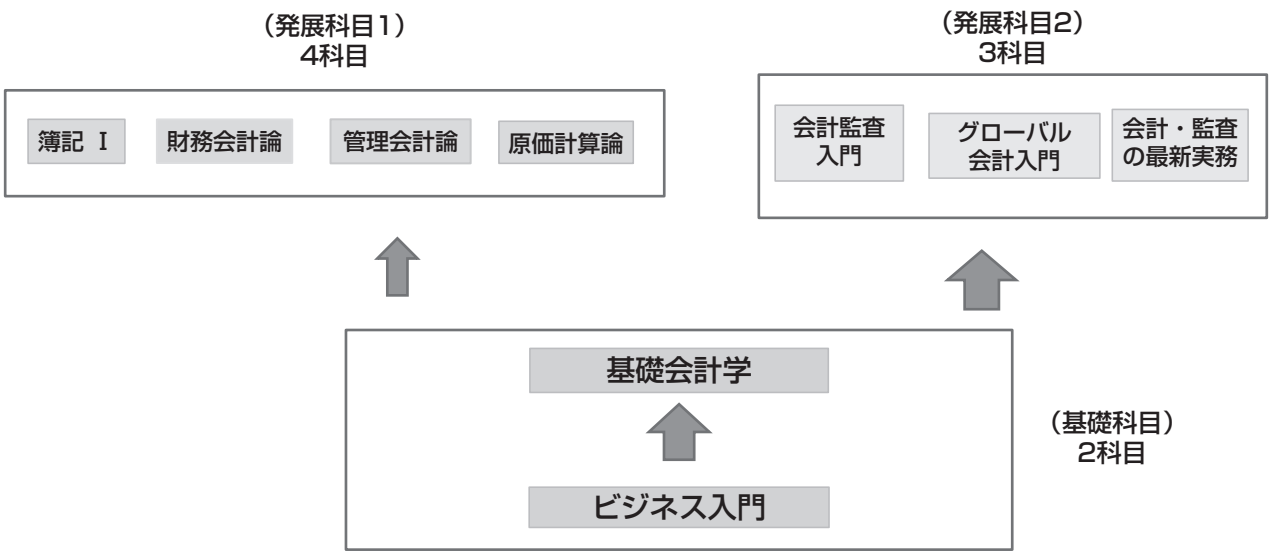
会計は、しばしば「ビジネスの言語」といわれる。これは、会計が企業と外部世界、すなわち利害関係者（株主、債権者、徴税当局など）とを繋げる必須の情報であり、また企業経営の場面においても経済活動の実態を理解するうえで欠かせない知識を提供するからに他ならない。いうまでもなく、本学の学生の多くは卒業後企業に就職する。このことを考えれば、自らの専門分野とは別に、会計に関する基本的なものの見方・考え方を身につけ、複眼的な視点を養うことが社会的にも要請されるであろうし、商学部はこれを支援できる環境を提供することができる学部であるといえる。事実、商学部はこれまでも、政治経済学部および法学部との合併科目として「基礎会計学」を設置してきたが、両学部においては公認会計士試験を意識した優秀な学生が多数存在する。今後、学術的副専攻という形でさらに体制を拡大・発展させることにより、そうした学生のニーズに幅広く応えられる環境を整備することができる。さらに、商学部にあっては会計研究科との連携も可能であることから、発展科目２により実践的な内容を有する科目も加えている。

## 到達点（学習成果）

副専攻「会計学」の修了要件を充たした学生は、社会における会計の役割とその貢献に関する体系的な理解が得られるとともに、簿記に限らずこれを活用するための基本的および実践的な技術に関しても相応の学習効果が見込まれる。具体的には、その想定される学習効果は、商学部内の会計トラックに所属する学生と比べても決して見劣りしないレベルとなることを想定している。正直なところ、公認会計士試験を受験するために必要とされる高度な知識の習得を期待できるレベルには及ばないものの、当該試験の受験に対する動機付けおよび今後の進路決定には大いに役立つものとなるにちがいない。この点に関しては、中小企業診断士や税理士試験に関しても同様である。

## カリキュラムマップ

**・基礎科目として「ビジネス入門　1」と「基礎会計学　10」を置き、副専攻の必修科目とする。**
**・「ビジネス入門　1」を履修し A 評価以上を修得した者は、全学副専攻の対象科目として「基礎会計学　10」の科目登録を可能とする。**
**・「基礎会計学　10」を履修し A 評価以上を修得した者は、全学副専攻の対象科目として「発展科目　1」および「発展科目　2」の科目登録を可能とする。**






## 履修を希望する学生へのメッセージ

会計について深く知ることは、経済社会の動きをリアルタイムで把握し、的確な行動を選択することにつながる。会計は俗に「ビジネスの言語」と称されるが、同時に世界共通のグローバルな言語でもあることを知ってもらいたい。すなわち、世界経済を動かす人々は異なる言語を用いていても、彼らの行動やビジネスの在り方を律するルールは共通している。会計はまさにそうしたルールを代表する存在といえるであろう。社会の中には会計という仕組みがあり、これを通じて生み出された情報によって世界は動いているのである。外国語を学ぶことだけが世界につながる道では決してない。世界経済を動かしてる共通な枠組みを学習し、これを理解することによってこそ、世界で活躍できるグローバルな人材が育つと考える。



2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 22　　19/02/15 10:59　v5.51

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：６単位　発展科目１：８単位　発展科目２：２単位）以上

## 注意事項

商学部生は「会計学」副専攻を修了できません

### ★基礎科目

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望動 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 商学 | ビジネス入門　1 | エドマン　ジェスパー<br>カール　ヨーラン<br>他 | １年以上 | 春学期 | 木５時限 | 早稲田 | 2 | | 履修必須 |
| 2 | 商学 | 基礎会計学　10 | 伊藤　嘉博 | １年以上 | 秋学期 | 火２時限<br>金２時限 | 早稲田 | 4 | | 履修必須　※１　履修条件あり |

### ★発展科目１

修了必要単位：８単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望動 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 商学 | 簿記Ⅰ　1 | 奥村　雅史 | １年以上 | 春学期 | 月２時限<br>木２時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 2 | 商学 | 簿記Ⅰ　2 | 奥西　康宏 | １年以上 | 秋学期 | 月４時限<br>木４時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 3 | 商学 | 簿記Ⅰ　3 | 齋藤　正章 | １年以上 | 秋学期 | 月２時限<br>木２時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 4 | 商学 | 簿記Ⅰ　4 | 金子　良太 | １年以上 | 春学期 | 月１時限<br>木１時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 5 | 商学 | 財務会計論　1 | 山内　暁 | ２年以上 | 春学期 | 火４時限<br>金４時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 6 | 商学 | 財務会計論　2 | | ２年以上 | | | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり<br>2019年度休講 |
| 7 | 商学 | 財務会計論　3 | 八重倉　孝 | ２年以上 | 秋学期 | 火１時限<br>金１時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 8 | 商学 | 管理会計論　1 | 伊藤　嘉博 | ２年以上 | 春学期 | 火３時限<br>金３時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 9 | 商学 | 原価計算論　1 | 長谷川　惠一 | ２年以上 | 春学期 | 火２時限<br>金２時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |
| 10 | 商学 | 原価計算論　2 | | ２年以上 | | | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり<br>2019年度休講 |
| 11 | 商学 | 原価計算論　3 | 長谷川　惠一 | ２年以上 | 秋学期 | 火２時限<br>金２時限 | 早稲田 | 4 | | ※２　履修条件あり |

### ★発展科目２

修了必要単位：２単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望動 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 商学 | グローバル会計入門　1 | 秋葉　賢一 他 | ３年以上 | 秋学期 | 金５時限 | 早稲田 | 2 | | ※２　履修条件あり |
| 2 | 商学 | 会計・監査の最新実務　1 | 秋葉　賢一 他 | ３年以上 | 春学期 | 水５時限 | 早稲田 | 2 | | ※２　履修条件あり |
| 3 | GEC | 会計監査入門 | 金子　裕子 | １年以上 | 秋学期 | 火１時限 | 早稲田 | 2 | | ※３　認定条件あり |

## 「会計学」副専攻の修了要件とするための科目登録における注意事項

「会計学」副専攻の修了要件として科目を履修する場合には、以下の条件および方法で科目登録を行う必要があるので、注意してください。
（通常のWeb登録のみでは認定されない場合があります。）

※１　履修条件あり
「基礎会計学　10」の履修には特別な条件がありますので、科目登録の際には十分注意してください。
【条件】　**「ビジネス入門　1」でＡ評価以上を修得**していること。
【科目登録方法】　各所属学部の一次登録期間中に、Web科目登録を行い、かつ上記の履修条件を満たしたことが確認できる**成績証明書を商学部事務所に提出**してください。

※２　履修条件あり
以下の科目の履修には特別な条件がありますので、科目登録の際には十分注意してください。
【対象科目】　「発展科目１」のすべての科目、「発展科目２」の「グローバル会計入門　1」「会計・監査の最新実務　1」
【条件】　**「基礎会計学　10」でＡ評価以上を修得**していること。
【科目登録方法】　各所属学部の一次登録期間中に、Web科目登録を行い、かつ上記の履修条件を満たしたことが確認できる**成績証明書を商学部事務所に提出**してください。

※３　認定条件あり
「会計監査入門」を本副専攻指定科目として認定するには、以下の条件がありますので、注意してください。
【条件】　**「基礎会計学　10」でＡ評価以上を修得**していること。
当科目は履修登録上の条件はありませんが、「基礎会計学　10」がＢ評価以下の場合、本副専攻の指定科目として認定されません。

【注意】
一度単位を修得した科目は、再度履修することができません。
したがって、「ビジネス入門　1」あるいは「基礎会計学　10」をＢまたはＣ評価で単位修得した場合、本副専攻を修了することができなくなりますので、十分に注意してください。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 23　　19/02/15 10:59　v5.51

# 日本語教育学

*Study in Japanese Language Teaching*

*日本語教育研究科提供副専攻*

## 設置概要

本学は1880年代より外国人留学生を受け入れ、現在、日本で最多の約5800名の留学生が学んでいます。そのうち約2400名以上の留学生が本学日本語教育研究センターで日本語科目を履修しています。

また、大学院日本語教育研究科は、第二言語として日本語を学ぶ学習者が日本語でコミュニケーションできるようになるための日本語教育のあり方と方法を理論的に研究し、“理論”と“実践”が統合された教育が展開できる日本語教師など日本語教育の専門家を養成しています。日本語教育研究科の修了生は、日本中、あるいは、世界各国の日本語教育機関等で幅広く活躍しています。

本副専攻では、分野としての日本語教育学を体系的に学びます。日本語教育学は「日本語」「教育／学習」「社会」の３本柱からなる分野です。日本語の教育や学習支援には、まず日本語に関する知識が不可欠です。しかし、それだけでは不十分で、日本語の教育や学習に関する知識や技術も必要です。さらに、日本語教育の専門家としては、第二言語として日本語を使って生きる人や彼らを受け入れる社会のあり方も視野に入れる必要があります。

＜基礎＞の科目群にある「日本語教育学入門」は、本副専攻の要となる科目で３本柱を広くカバーする科目で、その履修によって日本語教育学に関する全体図を得ることができます。「日本語」「教育／学習」「社会」の各柱には、それぞれ＜基礎＞＜発展１＞＜発展２＞の科目群があって、履修者は各自の専攻や興味・関心に応じて科目を選択しながら、日本語教育学を体系的に学ぶことができます。

## 到達点（学習成果）

本副専攻は、「日本語」「教育／学習」「社会」の３本柱からなり、それぞれが次のような到達目標をもっています。「日本語」は、個別言語の１つとして日本語を位置づけ、その体系、構造を理解し、日本語を客観的にとらえられるようになることを到達目標としています。「教育／学習」は、第二言語／母語として日本語を教えたり学んだりする際に必要な知識と技術を身につけることを到達目標としています。「社会」は、社会全体の中に日本語教育を位置づけ、その役割や意義が考えられるようになることを到達目標としています。

履修者は、各自の専攻や興味・関心に応じて本専攻の科目を選択して学習することができます。その到達点は多様で、海外留学先の大学で日本語教育のティーチング・アシスタントをする、日本語教師となって国内外で教える、国内外で日本語学習支援のボランティアをするなど、さまざまケースがあります。

## カリキュラムマップ

| 区分 | 日本語 | 教育／学習 | 社会 |
|---|---|---|---|
| 到達目標 | 個別言語の一つとして日本語を位置づけ、その体系、構造を理解し、客観的に捉えられるようになる。 | 外国語／第二言語として日本語を教えたり学んだりする際に必要な知識や技術を身につける。 | 社会全体の中に日本語教育を位置づけ、その役割や意義を考えられるようになる。 |
| 基礎<br>７科目<br>(14単位) | 日本語教育学入門<br>この科目では、日本語教育学の基本的な概念を知ることにより、その大まかな全体像を学びます。 | | |
| | 日本語を知る<br>この科目では、日本語という言語の音声や語彙、文法、談話がどのような仕組になっているかを考えます。 | 日本語を教える<br>この科目では、日本語を母語としない人にどのように日本語を教えるかを学びます。 | 複言語社会を知る<br>この科目では、社会や個人において、どのようなことばが使用されているかを日本語教育の視点から考えます。 |
| | 日本語使用を考える<br>この科目では、日本語がどのように使われているかを考える際にどのような捉え方があるかを学びます。 | 日本語学習を考える<br>この科目では、人々が母語あるいは外国語/第二言語として、日本語をどのように学んでいるかを知り、自身の言語学習についても内省する目を養います。 | 複言語社会を作る<br>この科目では、日本語教育がこれからの社会をつくるうえでどのようなことができるのかを考えます。 |
| 発展1<br>６科目<br>(12単位) | 日本語を集める<br>この科目では、日本社会でどのような日本語が使われているかを知るために、いろいろな使用例を集めます。 | 日本語学習者を支援する<br>この科目では、学習者がさまざまな場で日本語を学ぶことをどのように支援することができるかを学びます。 | 複言語社会を考える<br>この科目では、多様な背景をもつ人々が共に暮らす社会の中で、ことばと社会、そしてコミュニケーションに関する事象を日本語教育の視点から考えます。 |
| | 日本語を見る<br>この科目では、日本語を使ってどのようにコミュニケーションが行われるかを観察し、日本語によるコミュニケーションを見る目を養います。 | 日本語教師を養成する<br>この科目では、外国語/第二言語としての日本語を教える教師をどのように養成するかを考えます。 | 複言語社会を生きる<br>この科目では、多様な背景をもつ人々が共に暮らす社会の中で、どのように暮らしているのかに関する事象を日本語教育の視点から考えます。 |

| | |
|---|---|
| 到達目標 | 「基礎」および「発展１」をふまえ、日本語教育学の広がりについて、さまざまな観点から学びます。 |
| 発展2<br>9-12科目<br>(18-24単位) | 「敬語コミュニケーション論１」、「敬語コミュニケーション論２」、「言語学入門」、「言語学１A」、「言語学１C」、「現代の日本語」、「「ことば」の世界」、「非言語行動論」、「心理学概論」、「国際教育論」、「比較・国際教育学」、「参加のデザイン技術A」 |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 30 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

16単位（基礎科目：８単位、発展科目１：４単位、発展科目２：４単位）以上

### ★基礎科目

修了必要単位：８単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | 日本語教育学入門　1　01 | 蒲谷　宏 他 | １年以上 | 春クォーター | 木２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 2 | GEC | 日本語教育学入門　1　02 | 蒲谷　宏 他 | １年以上 | 秋クォーター | 木２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 3 | GEC | 日本語教育学入門　2　01 | 蒲谷　宏 他 | １年以上 | 夏クォーター | 木２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 4 | GEC | 日本語教育学入門　2　02 | 蒲谷　宏 他 | １年以上 | 冬クォーター | 木２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 5 | GEC | 日本語を知る　1 | 小宮　千鶴子 | １年以上 | 春クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 6 | GEC | 日本語を知る　2 | 小宮　千鶴子 | １年以上 | 夏クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | GEC | 日本語使用を考える　1 | 蒲谷　宏 | １年以上 | 秋クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 8 | GEC | 日本語使用を考える　2 | 蒲谷　宏 | １年以上 | 冬クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | 日本語を教える　1 | 宮崎　里司 | １年以上 | 春クォーター | 木１時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | 日本語を教える　2 | 宮崎　里司 | １年以上 | 夏クォーター | 木１時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | 日本語学習を考える　1 | 舘岡　洋子 | １年以上 | 秋クォーター | 金２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | 日本語学習を考える　2 | 舘岡　洋子 | １年以上 | 冬クォーター | 金２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 13 | GEC | 複言語社会を知る　1 | 川上　郁雄 | １年以上 | 春クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 14 | GEC | 複言語社会を知る　2 | 川上　郁雄 | １年以上 | 夏クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 15 | GEC | 複言語社会を作る　1 | 福島　青史 | １年以上 | 秋クォーター | 水２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 16 | GEC | 複言語社会を作る　2 | 福島　青史 | １年以上 | 冬クォーター | 水２時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★発展科目１

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | 日本語を集める　1 | 松井　一美 | １年以上 | 春クォーター | 木３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 2 | GEC | 日本語を集める　2 | 松井　一美 | １年以上 | 夏クォーター | 木３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 3 | GEC | 日本語を見る　1 | 吉田　好美 | １年以上 | 秋クォーター | 木４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 4 | GEC | 日本語を見る　2 | 吉田　好美 | １年以上 | 冬クォーター | 木４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 5 | GEC | 日本語学習者を支援する　1 | 木下　直子 | １年以上 | 春クォーター | 火５時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 6 | GEC | 日本語学習者を支援する　2 | 木下　直子 | １年以上 | 夏クォーター | 火５時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | GEC | 日本語教師を養成する　1 | 金　孝卿 | １年以上 | 秋クォーター | 木３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 8 | GEC | 日本語教師を養成する　2 | 金　孝卿 | １年以上 | 冬クォーター | 木３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | 複言語社会を考える　1 | 寅丸　真澄 | １年以上 | 春クォーター | 月２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | 複言語社会を考える　2 | 寅丸　真澄 | １年以上 | 夏クォーター | 月２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | 複言語社会を生きる　1 | 木下　直子 | １年以上 | 秋クォーター | 月２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | 複言語社会を生きる　2 | 木下　直子 | １年以上 | 冬クォーター | 月２時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★発展科目２

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 言語学Ⅰ　C（ストックウェル） | ストックウェル　グレン | １年以上 | 春学期 | 水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | 言語学Ⅰ　A（首藤） | 首藤　佐智子 | １年以上 | 春学期 | 木４時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 参加のデザイン技術　A | 卯月　盛夫 | １年以上 | 春学期 | 金６時限<br>金７時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 4 | 人科 | 心理学概論 | 鈴木　晶夫 | １年以上 | 春学期 | 月１時限 | 所沢 | 2 | | |
| 5 | 人科 | 非言語行動論 | 鈴木　晶夫 | １年以上 | 春学期 | 水１時限 | 所沢 | 2 | | |
| 6 | 文構 | 言語学入門 | 森田　彰 | １年以上 | 春学期 | 土３時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | 文構 | 国際教育論～国際化・グローバル化と教育 | 山西　優二 | ２年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 文 | 比較・国際教育学（教育改革の視点とその方策） | 山西　優二 | ２年以上 | 春学期 | 木２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 9 | 文 | 現代の日本語 | 笹原　宏之 | １年以上 | 秋学期 | 水４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 10 | 基幹 | 「ことば」の世界 | | １年以上 | | | | 2 | | 2019年度休講 |
| 11 | GEC | 敬語コミュニケーション論　1　01 | 蒲谷　宏 | １年以上 | 春クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | 敬語コミュニケーション論　1　02 | 蒲谷　宏 | １年以上 | 秋クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 13 | GEC | 敬語コミュニケーション論　2　01 | 蒲谷　宏 | １年以上 | 夏クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 14 | GEC | 敬語コミュニケーション論　2　02 | 蒲谷　宏 | １年以上 | 冬クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |

## 履修を希望する学生へのメッセージ

本副専攻では、分野としての日本語教育学を体系的に学びます。日本語教育学は「日本語」「教育／学習」「社会」の３本柱からなる分野です。日本語の教育や学習支援には、まず日本語に関する知識が不可欠です。しかし、それだけでは不十分で、日本語の教育や学習に関する知識や技術も必要です。さらに、日本語教育の専門家としては、第二言語として日本語を使って生きる人や彼らを受け入れる社会のあり方も視野に入れる必要があります。

＜基礎＞には７科目あり、「日本語教育学入門」はその１つですが、他の６科目とは異なり、本副専攻の３本柱の要となる科目なので、その履修を強く推奨します。本副専攻では、「日本語教育学入門」のみ春夏クォーター、秋冬クォーターのどちらも開講されます。それ以外の科目のほとんどが、春夏クォーター、または、秋冬クォーターのいずれかのみの開講ですので、履修の時期にご注意ください。

本副専攻に設置されている科目の幅広い履修は、本副専攻の申請を特に考えていない方にも推奨します。地域や職場で日本語を母語としない人と接することが珍しくない現在、日本語教育学を学び、日本語や日本社会、日本文化を相対化して客観的に捉えられるようになることは、21世紀を生きるための教養だからです。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 31　　19/02/15 10:59　v5.51

# 映画・映像

*Cinema and Audiovisual*

## 設置概要

早稲田大学は、今村昌平、小栗康平をはじめとして映画・映像の制作者のみならず、映画史・映画美学の研究者や、日々更新される映像技術の研究者を多く輩出してきました。それは、「専門」の枠にとどまらずに、学術的な研究・教育と、実践的な知がたえず融合されるカリキュラムを学生たちが自主的に選択し、創作者や研究者としての道を切り開いてきたことに大きく依るものだと考えています。現在、映画・映像を専門とする教員は、様々な学部に所属していますが、リベラル・アーツを掲げるGECにおいてこそ、複数の学問領域が相関的に織りなす、「総合芸術」としての映画・映像の世界を深く掘り下げることができると信じています。

教育の目標としては、①「何を表現するのか」、②「どのように表現するのか」、③「社会のなかでその表現が果たす役割とは何か」を主眼としたカリキュラムを展開していくことを計画しています。そのためには、学生自身が①映画映像に対する「見方」を創り、②創造行為をとおして、技術のみならず共同作業に必要な議論・交流を行い、③多様な価値観に直面しながら自ら決定することを重視します。副専攻のなかの領域・分野は、この３つの重点目標に対応するものだといえます。

教育方法としては、まず、作品に多く触れることにより、様々な表現様式を学ぶと同時に知的好奇心を拡げていくことを目指します。そして、批評意識を育むために授業に対話形式を積極的に取り入れるほか、全学部生が集まる少人数形式の授業を基盤とすることで、他者を知り自らの思考を深めることを目指します。また、実践的な知識や技術を学び、変革期を迎えつつある産業や社会のなかで、映画・映像の果たす役割を検討するために、実務家による指導や受講者によるイベントの運営等を実施していきます。上記のような教育目標・教育方法を実現するために、学際的副専攻「映画・映像」では、別紙に記すような段階に応じたカリキュラムの流れを想定します。

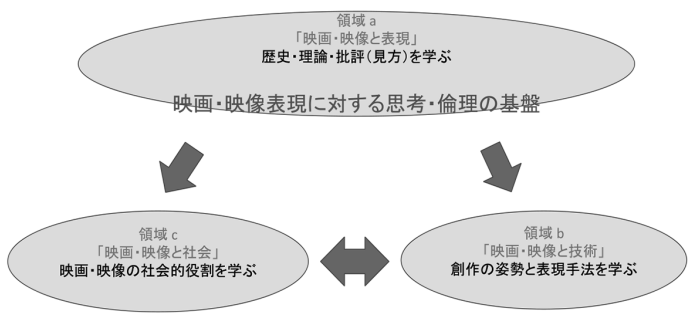
## 到達点（学習成果）

修了者が、批評眼を持って映画・映像と向き合うことが、到達点の根幹にあります。作品を語る言葉と思考を自ら持つことなしには、制作者、技術者、研究者へと進む道は、いずれも切り開かれないからです。そのうえで、歴史・文化、表現手法、マネジメントに関する基本的かつ包括的な知識を修得し、多面的に映画・映像の世界を理解することができる人間を育成します。その意味においては、映画・映像に対する批評的な思考、制作する技術、完成したものを人に届けることのできるコミュニケーション能力が身につくことと考えています。

また、映画・映像の領域で活躍する社会人として、必要な知識・技術・姿勢を修得するばかりでなく、他の領域であっても、社会のなかで映像表現を介したコミュニケーションの豊かさや広がりの実現に寄与することのできるような力を養うことも目標＝到達点です。

## カリキュラムマップ

GEC 学際的副専攻 <映画・映像> 領域相関図




**映画・映像　カリキュラムの流れ**

| | 映像の言語化<br>何を表現するのか | 表現手法<br>どのように表現するのか | 社会との関連性<br>表現の社会的な役割 |
|---|---|---|---|
| 基礎 | 映像論1／映画作家論 | マスターズ・オブ・シネマ1、2<br>映画監督と学ぶ映像表現 | プロデュース概論 |
| 習熟 | 映画から学ぶ映像表現<br>映画ジャンル論 | 映像制作技術基礎<br>メディアエルゴノミクス | 奇想のテレビドキュメンタリー論<br>映像・芸術表現 |
| 実践 | テレビ論 | 映像制作実習1，2 | 制作プロジェクト研究 |
| 研究・高度な実践 | 各大学院等のカリキュラムあるいは映画映像業界でキャリアデザイン | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 32 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

16単位（領域・分野a：６単位、領域・分野b：６単位、領域・分野c：４単位）以上

### ★領域・分野a　「映画・映像と表現」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 映像論 Ⅰ （谷） | 谷　昌親 | １年以上 | 春学期 | 木４時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 文 | 映画作家論 | 藤井　仁子 | ２年以上 | 秋学期 | 火４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 3 | 文 | 映画ジャンル論 | 木原　圭翔 | ２年以上 | 秋学期 | 金２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | 基幹 | 映画から学ぶ映像表現 | 土田　環 | ２年以上 | 春学期 | 月３時限<br>月４時限 | 西早稲田 | 4 | | |
| 5 | 基幹 | テレビ論 | 是枝　裕和 | ３年以上 | 集中講義（春学期） | 無その他 | 西早稲田 | 4 | | |
| 6 | GEC | 映画監督と学ぶ映像表現　※１ | 諏訪　敦彦 | １年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |

※１　基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

### ★領域・分野b　「映画・映像と技術」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 基幹 | メディアエルゴノミクス | 河合　隆史 | ３年以上 | 春学期 | 水４時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 2 | 基幹 | 映像制作実習 Ⅰ | 是枝　裕和 他 | ３年以上 | 春学期 | 火６時限<br>火７時限 | 西早稲田 | 4 | | |
| 3 | 基幹 | 映像制作実習 Ⅱ | 是枝　裕和 他 | ３年以上 | 秋学期 | 火６時限<br>火７時限 | 西早稲田 | 4 | | |
| 4 | GEC | 映画のすべて　マスターズ・オブ・シネマ　１　※１ | 土田　環 他 | １年以上 | 春クォーター | 土４時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 5 | GEC | 映画のすべて　マスターズ・オブ・シネマ　２　※１ | 土田　環 他 | １年以上 | 夏クォーター | 土４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 6 | GEC | 映像制作技術基礎 | 元村　直樹 | １年以上 | 春クォーター | 月３時限<br>月４時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |

※１　基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

### ★領域・分野c　「映画・映像と社会」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 基幹 | 奇想のテレビドキュメンタリー論 | 長嶋　甲兵 | ２年以上 | 秋学期 | 木４時限<br>木５時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 2 | GEC | プロデュース概論　※１ | 土田　環 他 | １年以上 | 秋クォーター | 火２時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 3 | GEC | 映像・芸術表現　01 | 高橋　恭子 他 | １年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 4 | GEC | 映像・芸術表現　02 | | １年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 5 | GEC | 制作プロジェクト研究 | 高橋　恭子 他 | １年以上 | 春季集中 | 無その他 | 西早稲田 | 2 | ○ | |
| 6 | GEC | インターンシップ実習　05（個人申請） | 松居　辰則 | １年以上 | 秋学期 | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 7 | GEC | インターンシップ実習　06（個人申請） | 松居　辰則 | １年以上 | 春学期 | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |

※１　基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。

## 履修を希望する学生へのメッセージ

まずは、映画映像に対する関心や好奇心を際限なく拡げていってください。そのなかで出会うさまざまなイメージや表現行為が、どのように私たちと関係を築き上げているのか自らにたえず問い続けてほしいと思います。「教員」と「学生」という一方的な関係のなかで基礎知識が「与えられる」のではなく、講義という出会いを通じて、世界のなかで他者と無数の線を引き続けられることが映画映像を学ぶためには必要です。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 33　　19/02/15 10:59　v5.51

# 演劇・舞台芸術

*Theatre Performing Arts*

## 設置概要

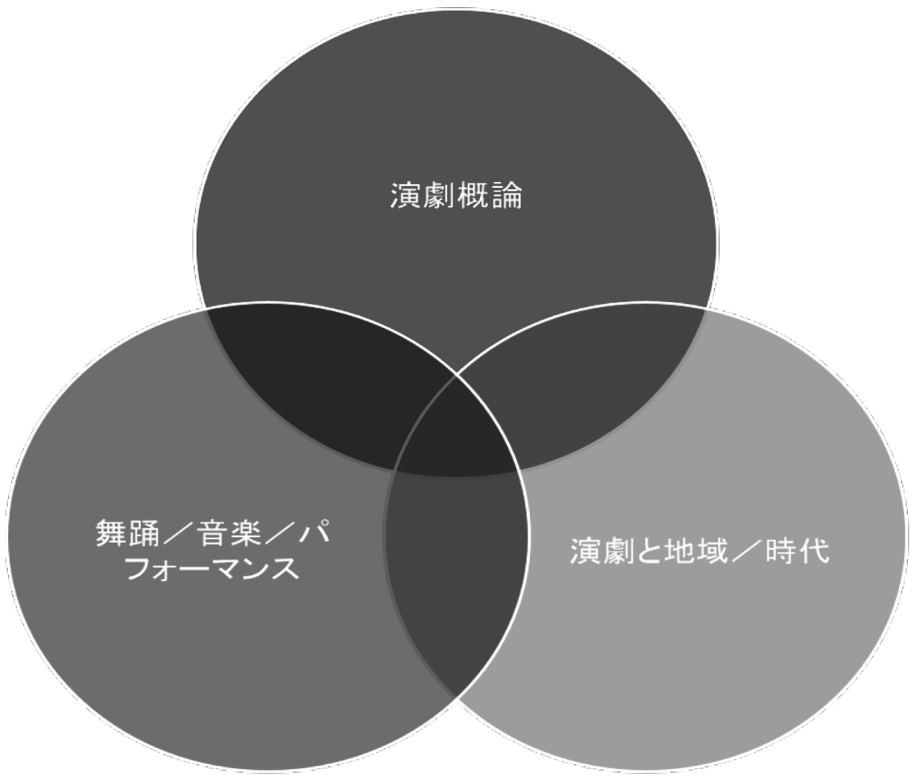
演劇／舞台芸術は、様々なジャンルを派生させながら、人類の歴史を通じて豊かなエンターテイメントや情報、生きる知恵をわれわれに与えてきた。何事にも効率性が重視され、ヴァーチャルな領域へとメディアが「発達」していく現代において、演劇／舞台芸術は、「ライブ」であることの魅力、人間同士の生身のコミュニケーションの重要さを実感できるものとして、むしろこの時代にこそ大きな役割を担っている。本副専攻は、演劇／舞台芸術が今を生きるわれわれにとってどのような意味を持っているのかを、過去から現在、様々な場所・地域で行われてきた実践を概観しながら学ぶ。

早稲田大学は本部キャンパスに演劇／舞台芸術研究の世界的中心である演劇博物館を擁する。本副専攻では、演劇博物館と連携して演博が蓄えてきた豊富な文化資源を学習に活用する。また本学は箇所をまたいで演劇／舞台芸術の研究に従事する教員が充実し、学内には数多くの演劇／舞台芸術を実践する学生サークル・劇団が存在する。GEC設置と全学にまたがるオープン科目からなる指定科目は、きわめて広範囲の領域をカバーしている。その中には、実践／実技系の科目も多く含まれている点も特徴的である（たとえば能の実践科目では、能楽シテ方公式団体から感謝状が寄せられるなど、伝統演劇の普及にも貢献している）。戸山キャンパスの演劇映像コースとも連携し、演劇の実践と研究に関わる活動を共同で開催する。このように、「副専攻」として演劇／舞台芸術を学ぶコースとしては、早稲田大学以外にはまねの出来ないものである。

## 到達点（学習成果）

日本を含めた世界の演劇、代表的な作品、様々な舞台芸術ジャンル、演劇の構成要素、文化的背景などについて、幅広い知識・経験、批評眼を持つ。演劇／舞台芸術に関わるマネジメントや政策決定、教育などの分野に進むための十分な素養を身につけている。習得した知識を活かした、演劇／舞台芸術の実践活動を行うことができる。大学院で専門的に演劇／舞台芸術を学ぶための十分な知識を身につけている。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

演劇・舞台芸術は誰でも鑑賞することができ、また自分でやってみるのも決して不可能なことではありません。専門的な知識は鑑賞や実践を豊かなものにしますが、教養・たしなみ・純粋な楽しみ・コミュニケーションの手段として、舞台を学んだり実践したりする人もたくさんいます。つまり演劇・舞台芸術は、教養を身につけることを目標にする「副専攻」として学ぶのがもっともふさわしい分野だと言えます。学部を問わず多くの人たちに開かれた演劇・舞台術副専攻を通して、舞台の楽しさと奥深さを探求してほしいと思います。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 34 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

追　加･･･2019年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（領域・分野a：６単位、領域・分野b：６単位、領域・分野c：４単位）以上

### ★領域・分野a　「演劇概論」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | World Literature　01 | 八木　斉子 | 1年以上 | 春学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 政経 | Drama and Society　01 | 八木　斉子 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 早稲田 | 2 | | 追加 |
| 3 | 法学 | 演劇論Ⅰ（澤田） | 澤田　敬司 | 1年以上 | 春学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 教育 | 舞台芸術入門Ⅰ | 渡邊　芳敬 他 | 1年以上 | 春学期 | 金4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 教育 | 舞台芸術入門Ⅱ | 渡邊　芳敬 他 | 1年以上 | 秋学期 | 金4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 文 | 演劇研究入門 | 児玉　竜一 | 1年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | GEC | 演劇の鑑賞と理解・演習（入門） | 澤田　敬司 他 | 1年以上 | 集中講義（春学期） | 土3時限<br>土5時限 | 早稲田 | 2 | ○ | いずれか履修必須 |
| 8 | GEC | 演劇の鑑賞と理解・演習（発展） | 澤田　敬司 他 | 1年以上 | 集中講義（秋学期） | 土3時限<br>土5時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 9 | GEC | 現代演劇と多文化主義（入門）（学部生用） | 澤田　敬司 | 1年以上 | 夏ｸｫｰﾀｰ | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 10 | GEC | 現代演劇と多文化主義（発展）（学部生用） | 澤田　敬司 | 1年以上 | 冬ｸｫｰﾀｰ | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 11 | GEC | 社会の見方を変えるフィールドワークとワークショップ　1 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 12 | GEC | 社会の見方を変えるフィールドワークとワークショップ　2 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| － | GEC | 社会貢献のためのクリエイティブな発想と実践 | | | | | | | | 取下げ |

### ★領域・分野b　「演劇と地域／時代」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 国際教養 | Selected Topics in Irish Studies　51 | 三神　弘子 | 3年以上 | 秋学期 | 水4時限<br>水5時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 国際教養 | Selected Topics in Irish Studies　01 | | 3年以上 | | | 早稲田 | 4 | | 2019年度休講 |
| 3 | 国際教養 | Contemporary Performing Arts | 三神　弘子 | 2年以上 | 秋学期 | 火4時限<br>火5時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 文構 | 英米演劇の伝統と変容 | 梅宮　悠 | 2年以上 | 夏ｸｫｰﾀｰ | 火6時限<br>金3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 5 | 文構 | 英語圏文化研究2 | 澤田　敬司 | 2年以上 | 秋学期 | 火4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 6 | 文 | 中国伝統演劇概論 | 波多野　眞矢 | 2年以上 | 春ｸｫｰﾀｰ | 月5時限<br>木5時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | 文 | シェイクスピアと現代 | 冬木　ひろみ | 1年以上 | 春学期 | 月3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 文 | ロシア芸術の現在1 | 八木　君人　他 | 1年以上 | 春学期 | 火2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 9 | 文 | ロシア芸術の現在2 | 八木　君人　他 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 10 | 文 | 日本演劇史1 | 児玉　竜一 | 2年以上 | 春学期 | 月5時限 | 戸山 | 2 | | |
| 11 | 文 | 日本演劇史2 | 児玉　竜一 | 2年以上 | 秋学期 | 月5時限 | 戸山 | 2 | | |
| 12 | 文 | 西洋演劇1 | 藤井　慎太郎 | 2年以上 | 春学期 | 木4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 13 | 文 | 西洋演劇2 | 藤井　慎太郎 | 2年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 14 | GEC | 社会の中の歌舞伎　1 | 埋忠　美沙 | 1年以上 | 春ｸｫｰﾀｰ | 木2時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 15 | GEC | 社会の中の歌舞伎　2 | 埋忠　美沙 | 1年以上 | 夏ｸｫｰﾀｰ | 木2時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 16 | GEC | シェイクスピアと映像（学部生用） | 本山　哲人 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 17 | GEC | 実践　能に親しむ　1 | 佐野　玄宜 他 | 1年以上 | 春ｸｫｰﾀｰ | 木4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 18 | GEC | 実践　能に親しむ　2 | 佐野　玄宜 他 | 1年以上 | 夏ｸｫｰﾀｰ | 木4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| － | 教育 | 東アジアの思想と文化Ⅱ（近世） | | | | | | | | 取下げ |

### ★領域・分野c　「舞踊／音楽／パフォーマンス」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文構 | 民族音楽論 | 早稲田　みな子 | 1年以上 | 秋学期 | 水2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 2 | 文構 | パフォーマンス・スタディーズ | 坂内　太 | 1年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 3 | 文 | 舞踊史 | 國吉　和子 | 2年以上 | 春学期 | 木5時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | GEC | アジアのフィジカルエクササイズ 01 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 5 | GEC | アジアのフィジカルエクササイズ 02 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 6 | GEC | ダンス・クリエイション　01 | 杉山　千鶴 | 1年以上 | 春学期 | 金4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | GEC | ダンス・クリエイション　02 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 8 | GEC | ダンス・パフォーマンス　01 | 杉山　千鶴 | 1年以上 | 秋学期 | 金4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | ダンス・パフォーマンス　02 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 10 | GEC | バレエ　基礎　01 | 高橋　佳子 | 1年以上 | 春学期 | 水3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | バレエ　基礎　02 | 高橋　佳子 | 1年以上 | 春学期 | 水4時限 | 早稲田 | 1 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 35　　19/02/15 10:59　v5.51

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望動 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 | GEC | バレエ　基礎　03 | 高橋　佳子 | １年以上 | 秋学期 | 水３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 13 | GEC | バレエ　基礎　04 | 高橋　佳子 | １年以上 | 秋学期 | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 14 | GEC | ストラヴィンスキー論　１　01 | 池原　舞 | １年以上 | 春クォーター | 火４時限 | 早稲田 | 1 | | 2018年度以前科目名称：「バレエ・リュスの「春の祭典」1、2」 |
| 15 | GEC | ストラヴィンスキー論　１　02 | 池原　舞 | １年以上 | 秋クォーター | 火４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 16 | GEC | ストラヴィンスキー論　２　01 | 池原　舞 | １年以上 | 夏クォーター | 火４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 17 | GEC | ストラヴィンスキー論　２　02 | 池原　舞 | １年以上 | 冬クォーター | 火４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| － | GEC | 三遊亭円朝の世界（入門） | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 三遊亭円朝の世界（基礎） | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 話芸と文芸（入門） | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 話芸と文芸（基礎） | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 落語鑑賞（鑑笑） | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 東京の笑いと大阪の笑い | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 36　　19/02/15 10:59　v5.51

# 健康・医療

*Health and Medical Care*

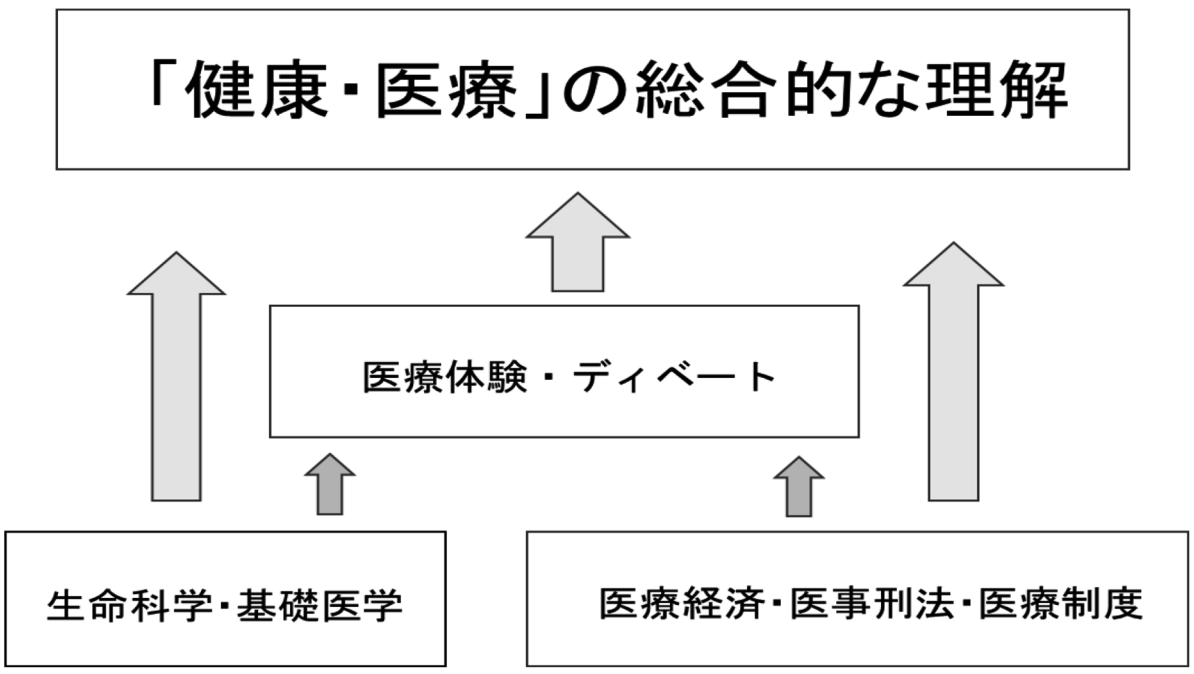
## 設置概要

健康・医療への人々の関心は高く、関連する業種も拡大している。医学部のない早稲田大学は、医師の育成は出来ないが、健康・医療に関わる行政、法律、経済、経営など人文社会系の人材や研究・開発に関わる医理工系人材の育成を行なうことにより、社会に貢献できる。総合大学として、健康・医療の専門的な教育のみならず、学部横断的に学際的に学生を教育することが、副専攻という制度を用いて実現可能である。これまで全学共通副専攻「健康・医療」でも、多くの学部に所属する学部生が修了していることからも、多くの学部からの履修者や修了生が期待できる。

## 到達点（学習成果）

学生の所属する学部教育で得られる専門的知識に加え、他学部特に人文・社会系の学生にとっては、健康・医療における生命科学や基礎医学の知識を、理工系の学生には、医療行政や医療経済、医療にかかわる法律、医療倫理などの知識を得ることにより、健康・医療の問題を多面的、俯瞰的に捉えることが出来ることが求められる。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

本副専攻では、健康・医療を理解する上で基礎となる生命科学、基礎医学と医療経済、医事刑法、医療制度などの講義科目を学び、「医療ボランティア実習」で医療を体験し、「ディベート科目」で、討論を交わすことを通じて、健康・医療について学際的、総合的に学べるよう科目を設置しています。将来、健康・医療の分野に就職したい方、この分野に関心を持ち、自身の研究テーマとしたい方などの参加を期待しています。健康・医療を人文社会学、生命科学の両面から学んだ人材は、医療”の時代といわれる21世紀において待望されており、学生諸君にとっては新しいキャリアを形成する機会となります。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 38 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

## 修了必要単位

18単位（領域・分野a：10単位、領域・分野b：４単位、領域・分野c：４単位）以上

### ★領域・分野a 「生命科学・基礎医学」

修了必要単位：10単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 人科 | バイオエシックス | 森岡　正博 | 1年以上 | 春学期 | 火2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 2 | 基幹 | 健康の生態学 | 吉永　真理 | 2年以上 | 春学期 | 月2時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 3 | 先進 | 薬理学A | 大島　登志男 | 3年以上 | 春クォーター | 月1時限 | 西早稲田 | 1 | | |
| 4 | 先進 | 遺伝医学 | 大島　登志男 他 | 2年以上 | 秋学期 | 火5時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 5 | GEC | 生命科学概論　01　※1 | 大島　登志男 他 | 1年以上 | 春学期 | 木1時限 | 西早稲田 | 2 | ○ | |
| 6 | GEC | 生命科学概論　02　※1 | 大島　登志男 他 | 1年以上 | 春学期 | 金5時限 | 西早稲田 | 2 | ○ | |
| 7 | GEC | メンタルヘルスマネジメント概論 | 堀　正士 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 水5時限<br>金5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | GEC | こころとからだの健康　1　01 | 堀　正士 他 | 1年以上 | 春クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | こころとからだの健康　1　02 | 堀　正士 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | こころとからだの健康　2　01 | 堀　正士 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | こころとからだの健康　2　02 | 堀　正士 他 | 1年以上 | 冬クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | 医学入門 （東京女子医科大学） | | 2年以上 | 秋学期 | 土3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| － | 人科 | 心身医学 | | 1年以上 | | | 所沢 | 2 | | 取下げ |

※1　基幹・創造・先進理工学部生は、「生命科学概論A・B」（理工設置科目）を受講してください。

### ★領域・分野b 「医療経済・医事刑法・医療制度」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 医療経済学　01 | 野口　晴子 | 3年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | 医事刑法 | 甲斐　克則 | 2年以上 | 秋学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 生命倫理と法 1〔生命の始期に関わる諸問題〕 | 横野　恵 | 3年以上 | 春学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 生命倫理と法 2〔生命の終期に関わる諸問題〕 | 横野　恵 | 3年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 人科 | 保健福祉制度 | 岩崎　香 | 1年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 所沢 | 2 | | |
| 6 | 文構 | 生命倫理 | 村松　聡 | 1年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | 先進 | 臨床医学概論 | 石川　義弘 他 | 3年以上 | 秋学期 | 月3時限<br>月4時限 | 西早稲田 | 2 | | |

### ★領域・分野c 「医療体験・ディベート」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | ディベートで学ぶ現代医療最前線と医療問題 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 2 | GEC | 医療ボランティア実習　01 | 大島　登志男 | 1年以上 | 春学期 | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 3 | GEC | 医療ボランティア実習　02 | 大島　登志男 他 | 1年以上 | 秋学期 | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 4 | GEC | 地域医療学概論 | 大島　登志男 他 | 1年以上 | 夏季集中 | 無その他 | その他 | 2 | ○ | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 39　　19/02/15 10:59　v5.51

# コリア研究
*Korean Studies*

## 設置概要

早稲田大学では、多数の学部で朝鮮語を学べる環境にありながら、朝鮮語を履修しても各学部において、朝鮮語を生かして受講できる科目が限られている。

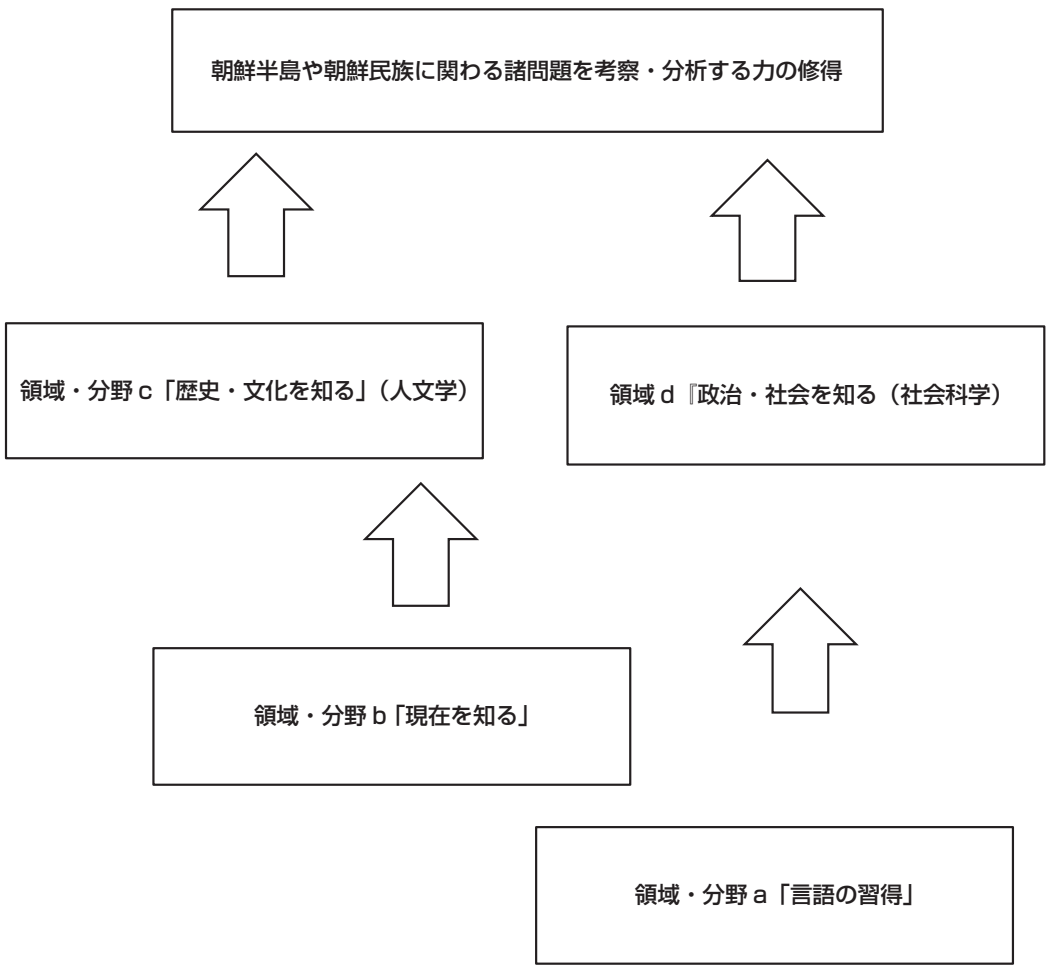
しかし全学的な規模で見れば多様な専攻の教員が在職しており、それらの授業が受講できれば、学科レベルの水準を超えて教育を受けることができる。

韓国からの留学生も多く、留学先に韓国の大学を選ぶ学生も少なくない。留学先の科目をも含めて副専攻とすれば、広い視野から多角的に地域研究としての韓国学が学べるという特徴をもたせることができる。

## 到達点（学習成果）

朝鮮語の文献をもちいて、朝鮮半島および朝鮮民族の過去と現在に関わる歴史や文化等について、広い視野から多角的に分析し、自分の考えを述べられるようにする。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

外国語科目で朝鮮語を学んでいる皆さん、グローバルエデュケーションセンターや学部で設置されている韓国、朝鮮関係の授業や演習で具体的な課題が見つけられると、確実に朝鮮語を学ぶ意欲や楽しさが増していきます。その逆に、早稲田大学で開講されている韓国、朝鮮を主題にした様々な授業習に出会い、朝鮮語を学習すると、その世界はますます広がり、深まっていくはずです。きっかけはどちらでもかまいません。コリア研究の担当教員は、皆さんの興味や関心を広げたり、深めたりするお手伝いをします。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 42 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

18単位（領域・分野ａ：６単位、領域・分野ｂ：４単位、領域・分野ｃ：４単位、領域・分野ｄ：４単位）以上

### ★領域・分野ａ　「言語の習得」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | グローバルエデュケーションセンター　提供朝鮮語科目 | | | | | | | | |
| 2 | 文構・文 | 文化構想学部・文学部　提供朝鮮語科目 | | | | | | | | |
| 3 | 国際教養 | 国際教養学部　提供朝鮮語科目 | | | | | | | | |

### ★領域・分野ｂ　「現在を知る」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | 現代韓国・北朝鮮研究入門　1 | 李　成市 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 2 | GEC | 現代韓国・北朝鮮研究入門　2 | 李　成市 他 | 1年以上 | 冬クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 3 | GEC | ＜在日＞を考える | 布袋　敏博 | 1年以上 | 秋学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | GEC | 海外・在日コリアンを考える　1 | 金　敬黙 | 1年以上 | 秋クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 5 | GEC | 海外・在日コリアンを考える　2 | 金　敬黙 | 1年以上 | 冬クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★領域・分野ｃ　「歴史・文化を知る」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文 | アジア史特殊講義2（朝鮮前近代史） | 李　成市 | 2年以上 | 春学期 | 火2時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 文 | 朝鮮近現代史 | 三ツ井　崇 | 2年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 3 | GEC | 朝鮮半島の文化と社会（入門） | 山崎　亜希子 | 1年以上 | 春学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | GEC | 朝鮮文学と映像（入門） | 布袋　敏博 | 1年以上 | 春学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 5 | GEC | 朝鮮文学と映像（応用） | 布袋　敏博 | 1年以上 | 秋学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 6 | GEC | 朝鮮古代の社会と文化（入門）　1 | 李　成市 | 1年以上 | 春クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | GEC | 朝鮮古代の社会と文化（入門）　2 | 李　成市 | 1年以上 | 夏クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★領域・分野ｄ　「政治・社会を知る」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 地域研究（韓国） | 木宮　正史 | 3年以上 | 春学期 | 月5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | GEC | 現代北朝鮮研究概論　1 | 平井　久志 他 | 1年以上 | 春クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 3 | GEC | 現代北朝鮮研究概論　2 | 平井　久志 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 4 | GEC | 朝鮮古代の社会と文化（応用）　1 | 李　成市 | 1年以上 | 秋クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 5 | GEC | 朝鮮古代の社会と文化（応用）　2 | 李　成市 | 1年以上 | 冬クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 43　　19/02/15 10:59　v5.51

# サスティナビリティ学

***Sustainability Science***

*Global development and future issues*

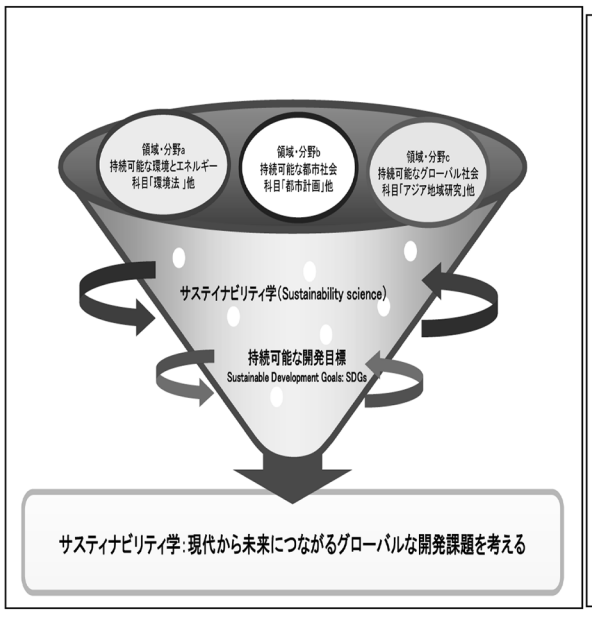
## 設置概要

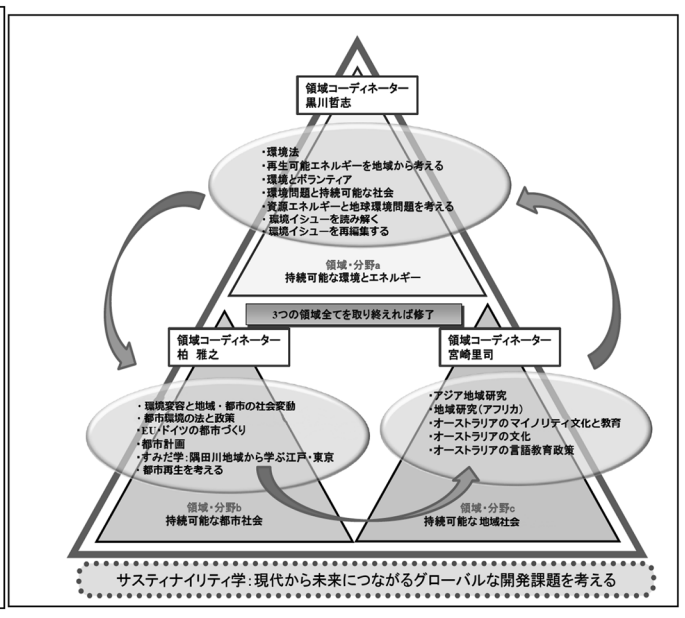
サステイナビリティ学（Sustainability science：持続可能性）とは、生態・資源・気候変動・環境や、移民・都市社会、さらには、教育・文化などに関する人類の文明活動が、将来にわたって持続できるかどうかを考察する学問で、グローバルなビジョンを構築するための基礎として提唱された、文系ならびに理系という概念を超えた超学的な領域である。人々の暮らしを持続可能とするために、「誰も置き去りにしない（leaving no one left behind）」を共通の理念に、国連で、地球規模の行動計画（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals: SDGs）が採択されたが、本学際的副専攻では、日本および欧米、ならびに環太平洋諸地域が、先んじて取り組むべき地球規模の課題を、早稲田の複数の学術院に所属する教員が、それぞれ専門とする、自然科学・人文社会科学分野から、現代と将来の開発課題を取り上げ、学生と共に考察する。こうした、学際的かつ横断的な副専攻は、これまで、学内では開講されておらず、各学部が単独では扱いにくい従来の枠組みを超えた超学的な試みと言えよう。

## 到達点（学習成果）

従来の文系・理系といったカテゴリーや、地域、自然科学、人文社会科学といった領域研究では、分析かつ考察しにくいグローバルで学際的な課題を、新たなパラダイムで捉え直す視点を醸成させると共に、貧困、飢餓、衛生、女性の社会進出、ディーセント・ワーク、国家間不平等、気候変動、海洋資源確保、生物多様性損失阻止、近代的エネルギーの確保、そして、生涯学習の機会促進などの課題を、「持続可能性（sustainability）」という、新しいコンセプトで、重層的・複合的に考察し、課題解決する能力を修得させる。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

サステイナビリティ学（Sustainability science：持続可能性）とは、生態・資源・気候変動・環境や、移民・都市社会、さらには、教育・文化などに関する人類の文明活動が、将来にわたって持続できるかどうかを考察する学問です。

自然科学・人文社会科学分野から、現代と将来の開発課題を取り上げ、学生と共に考察します。学際的かつ横断的な副専攻は、これまで、学内では開講されておらず、従来の枠組みを超えた超学的な試みを、「持続可能性」という新しいコンセプトで、重層的・複合的に考察し、課題解決する能力が修得できます。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 44 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

追　加･･･2019年度より、指定科目として追加になった科目です。

## 修了必要単位

16単位（領域・分野a：４単位以上、領域・分野b：４単位以上、領域・分野c：４単位以上）以上

### ★領域・分野a　「持続可能な環境とエネルギー」

修了必要単位：４単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 環境法 1〔公害規制法〕 | 黒川　哲志 | 3年以上 | 春学期 | 水3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | GEC | 環境問題と持続可能な社会 | 松岡　俊二 他 | 1年以上 | 春ｸｫｰﾀｰ | 木3時限<br>木4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | GEC | 再生可能エネルギーを地域から考える。 | 岡田　久典 他 | 1年以上 | 秋ｸｫｰﾀｰ | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 4 | GEC | 資源エネルギーと地球環境問題を考える | 平田　竹男 | 1年以上 | 夏ｸｫｰﾀｰ | フルオンデマンド | | 2 | ○ | |
| 5 | GEC | 激動する世界の資源エネルギーを俯瞰する | 平田　竹男 | 1年以上 | 秋ｸｫｰﾀｰ | フルオンデマンド | | 2 | | |
| 6 | GEC | 環境とボランティア　1 | 岩井　雪乃 | 1年以上 | 秋ｸｫｰﾀｰ | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | GEC | 環境とボランティア　2 | 岩井　雪乃 | 1年以上 | 冬ｸｫｰﾀｰ | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 8 | GEC | 環境イシューを再編集する | 友成　真一 他 | 1年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 9 | GEC | 環境イシューを深く読み解く | 友成　真一 他 | 1年以上 | 春学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |

### ★領域・分野b　「持続可能な都市社会」

修了必要単位：４単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | EU・ドイツの都市づくり | 卯月　盛夫 | 2年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 文構 | 環境変容と地域・都市の社会変動 | 浦野　正樹 | 2年以上 | 秋学期 | 火5時限 | 戸山 | 2 | | |
| 3 | 創造 | 都市計画 | 有賀　隆 他 | 2年以上 | 秋学期 | 月1時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 4 | GEC | 都市環境の法と政策 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 5 | GEC | すみだ学 | 宮崎　里司 | 1年以上 | 冬ｸｫｰﾀｰ | 金1時限<br>金2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| － | GEC | 都市再生を考える | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 協同組合論　1 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 協同組合論　2 | | | | | | | | 取下げ |

### ★領域・分野c　「持続可能な地域社会」

修了必要単位：４単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 地域研究（アフリカ） | 永岡　宏昌 | 3年以上 | 春学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 人科 | アジア地域研究 | 井上　真 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 3 | GEC | オーストラリアの言語教育政策 | 宮崎　里司 | 1年以上 | 春ｸｫｰﾀｰ | 火3時限<br>金1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | GEC | オーストラリアの文化（応用） | 澤田　敬司 | 1年以上 | 秋ｸｫｰﾀｰ | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | | 追加 |
| 5 | GEC | オーストラリアの文化（入門） | 澤田　敬司 | 1年以上 | 春ｸｫｰﾀｰ | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | GEC | オーストラリアのマイノリィティ文化と教育 | 前田　耕司 | 1年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| － | GEC | 海外・在日コリアンを考える　1 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 海外・在日コリアンを考える　2 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | ブータン地域研究 | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 45　　19/02/15 10:59　v5.51

# ジェンダー研究

*Gender Studies*

## 設置概要

「ジェンダーの主流化」が国際的な共通課題である時代、ジェンダーの視点を備えていることは、国内外で活躍する理性的な市民として不可欠なことである。

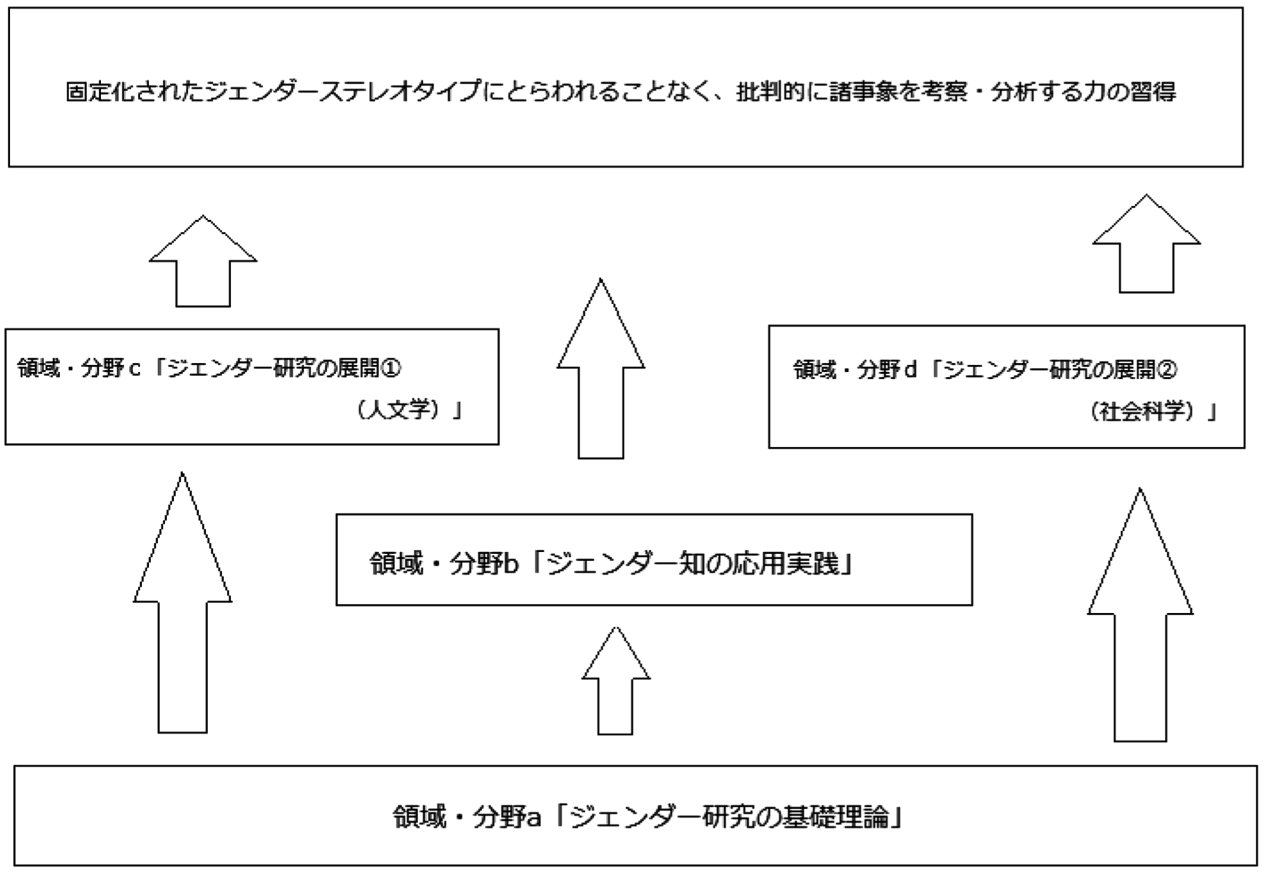
早稲田大学は、社会科学、人文科学、理工系の学部を備える総合大学である。学生たちは、各専門領域においてその専門性を高めることはもとより、ジェンダーの分析視点を習得し、ジェンダーに関する課題を深く学ぶことで、質の高い知性と感受性を備え、ダイバーシティや社会的正義を重んじる社会人へと成長する。

15年以上、活動を続けている早稲田大学ジェンダー研究所のメンバーを中心として、早稲田大学にはこうした視点から研究・教育を行っている教員が、多様な学部にわたって所属している。学際的副専攻として設置することで、これらの豊かな研究蓄積を学部の垣根にこだわらず広く学生たちに提供し、早稲田大学のジェンダー教育をいっそう充実させることになる。

## 到達点（学習成果）

ジェンダーやセクシュアリティの問題に関心を持つ学生たちが、法律や文学、社会学、教育学等の多様な学問領域において、伝統的な価値観や固定観念にとらわれることなく、批判的に諸事象を考察・分析する力を習得する。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

これまで、ジェンダーについて学んだことはありますか？

大学だからこそ、ジェンダーについて総合的に学び、とことん議論をすることが可能です。「社会に出る前に知っておくべきこと、考えておくべきこと」が当副専攻にはあふれています。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 46 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（領域・分野a：４単位、領域・分野b：４単位、領域・分野c：４単位、領域・分野d：４単位）以上

### ★領域・分野a 「ジェンダー研究の基礎理論」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | ジェンダー論Ⅰ B（金） | 金 富子 | 1年以上 | 秋学期 | 木5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | ジェンダー論Ⅰ A（田崎） | 田崎 英明 | 1年以上 | 秋学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 文構 | クィア・スタディーズ入門 | 森山 至貴 | 1年以上 | 秋学期 | 火2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | 文構 | ジェンダー論 | 豊田 真穂 | 2年以上 | 春学期 | 金2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 5 | GEC | ジェンダーを考える 1 | 弓削 尚子 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 6 | GEC | ジェンダーを考える 2 | 弓削 尚子 他 | 1年以上 | 冬クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| − | GEC | 男性学入門 1 | | | | | | | | 取下げ |
| − | GEC | 男性学入門 2 | | | | | | | | 取下げ |
| − | 法学 | ジェンダー論Ⅰ B（横山） | | | | | | | | 取下げ |

### ★領域・分野b 「ジェンダー知の応用実践」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | ダイバーシティを学ぶ α（基礎講義編）（WSCメンバーズ基金講座） | 矢口 徹也 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | | 2018年度以前科目名称：「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ（基礎講義編）」 |
| 2 | GEC | ダイバーシティを学ぶ β（実践編）（WSCメンバーズ基金講座） | 矢口 徹也 他 | 1年以上 | 冬クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | | 2018年度以前科目名称：「ダイバーシティ・男女共同参画を学ぶ（ライフコースを考える）」 |
| 3 | GEC | 女性・しごと・ライフデザイン α | 矢口 徹也 他 | 1年以上 | 春クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 4 | GEC | 女性・しごと・ライフデザイン β | 矢口 徹也 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| − | 文 | フェミニズム実践にみる教育思想 | | | | | | | | 取下げ |

### ★領域・分野c 「ジェンダー研究の展開①（人文学）」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 文学論 01 | 川崎 賢子 | 1年以上 | 春学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | English： Advanced 4（春） | | 3年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 3 | 法学 | English： Advanced 6（秋） | | 3年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 4 | 教育 | ジェンダー・スタディーズⅠ（身近なことを視座にして） | 金井 景子 | 1年以上 | 春学期 | 木4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 教育 | ジェンダー・スタディーズⅡ（文学を視座にして） | 金井 景子 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 国際教養 | Gender Studies 01 | ドボルザーク グレッグ | 2年以上 | 春学期 | 水4時限<br>水5時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 7 | 国際教養 | Gender Studies 02 | | 2年以上 | | | 早稲田 | 4 | | 2019年度休講 |
| 8 | GEC | 女の愛と生涯―独日比較 | 村上 公子 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 早稲田 | 2 | | 2018年度以前科目名称：「女の愛と生涯―独日比較 1・2」 |
| 9 | GEC | 英米文学とジェンダー 1 | 松永 典子 | 1年以上 | 春クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | 英米文学とジェンダー 2 | 松永 典子 | 1年以上 | 夏クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★領域・分野d 「ジェンダー研究の展開②（社会科学）」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 西洋史Ⅰ B（弓削） | 弓削 尚子 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 法学 | ジェンダーと法Ⅰ | 石田 京子 | 3年以上 | 春学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 法学 | ジェンダーと法Ⅱ | 谷田川 知恵 | 3年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 教育 | 女性史 | 天童 睦子 | 1年以上 | 秋学期 | 金5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 教育 | 青少年教育論 | 矢口 徹也 | 1年以上 | 秋学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 教育 | 女性教育論 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 7 | 商学 | 現代の社会構造 1 | 石崎 裕子 | 1年以上 | 春学期 | 土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | 商学 | 文化人類学B 1 | 加原 奈穂子 | 1年以上 | 秋学期 | 水2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | 商学 | 日本の文化と社会 1 | 石崎 裕子 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | 社学 | 現代家族論 1 | 小島 宏 | 1年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 11 | 社学 | 現代家族論 2 | 小島 宏 | 1年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 12 | 人科 | ジェンダー論 | 熱田 敬子 他 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 13 | 文構 | アジアのジェンダーとセクシュアリティ | 國弘 暁子 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 14 | 文構 | セクシュアリティの社会学 | 森山 至貴 | 1年以上 | 春学期 | 火3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 15 | 文構 | 東アジアにおけるフェミニズム | 熱田 敬子 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 戸山 | 2 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 47 19/02/15 10:59 v5.51

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 文構 | 歴史のなかの人権 | 豊田　真穂 | ２年以上 | 秋学期 | 金２時限 | 戸山 | ２ | | |
| 17 | 文 | 教育とジェンダー | 近藤　牧子 | ２年以上 | 春学期 | 水２時限 | 戸山 | ２ | | |
| 18 | GEC | ジェンダーと教育　1 | 村田　晶子 | １年以上 | 春クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 19 | GEC | ジェンダーと教育　2 | 村田　晶子 | １年以上 | 春クォーター | 金３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| － | 政経 | Gender in Global Politics　01 | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 48　　19/02/15 10:59　v5.51

「社会貢献とボランティア」

## 指定科目一覧

**※備考欄の記載事項**

追　加…2019年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ…指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

**修了必要単位**

16単位（領域・分野a：4単位以上、領域・分野b：2単位以上、領域・分野c：2単位以上、領域・分野d：2単位以上）以上

★領域・分野a 「体験し言語化する実践科目」　　修了必要単位：4単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 農からの地域連携（実習）Ⅰ | 早田　宰 他 | 2年以上 | 春学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | JA共済寄附講座　農からの地域連携（実習）Ⅱ | 早田　宰 他 | 2年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | GEC | 体験の言語化―世界と自分　01～24 | 兵藤　智佳　他 | 1年以上 | ※ | ※ | 早稲田 | 1 | ○ | いずれか履修必須 |
| 4 | GEC | 体験の言語化―ボランティア体験から　01 | 岩井　雪乃 | 1年以上 | 春クォーター | 水5時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 5 | GEC | 体験の言語化―ボランティア体験から　02 | 兵藤　智佳 | 1年以上 | 秋クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 6 | GEC | スポーツボランティア（松代雪ほり） | 宮崎　正己 | 1年以上 | 冬シーズン | 無その他 | 松代 | 1 | ○ | |
| 7 | GEC | グローバルヘルス | 兵藤　智佳 | 1年以上 | 秋クォーター | 火3時限<br>火4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | GEC | ボランティア論　1 | 兵藤　智佳 他 | 1年以上 | 春クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | ボランティア論　2 | 兵藤　智佳 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | 社会問題とボランティア　1 | 二文字屋　脩 | 1年以上 | 春クォーター | 水4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | 社会問題とボランティア　2 | 二文字屋　脩 | 1年以上 | 夏クォーター | 水4時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | 反＝反ボランティア論 | 二文字屋　脩 | 1年以上 | 春クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 13 | GEC | 自分のプロジェクトを経営する | 友成　真一 他 | 1年以上 | 春学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 14 | GEC | 地域を経営する | 友成　真一 他 | 1年以上 | 通年 | 木5時限 | 早稲田 | 4 | ○ | |
| 15 | GEC | 東南アジアの開発問題とNGOの役割 | 西村　正雄 | 1年以上 | 集中講義（秋学期） | 無その他 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 16 | GEC | 農山村体験実習 | 柏　雅之 他 | 1年以上 | 通年 | 水4時限 | 早稲田 | 4 | ○ | |
| 17 | GEC | アフリカゾウとの共生を実践するボランティア1 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | ○ | 2019年度休講 |
| 18 | GEC | アフリカゾウとの共生を実践するボランティア2 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 3 | | 2019年度休講 |
| 19 | GEC | 狩猟と獣害対策ボランティア | 岩井　雪乃 | 1年以上 | 集中講義（秋学期） | 木6時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 20 | GEC | 社会の見方を変えるフィールドワークとワークショップ　1 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | ○ | 2019年度休講 |
| 21 | GEC | 社会の見方を変えるフィールドワークとワークショップ　2 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | ○ | 2019年度休講 |
| 22 | GEC | ブータンから学ぶ国家開発と異文化理解　1 | 平山　雄大 他 | 1年以上 | 春クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 23 | GEC | ブータンから学ぶ国家開発と異文化理解　2 | 平山　雄大 他 | 1年以上 | 夏秋期 | 金5時限 | 早稲田 | 3 | | |
| 24 | GEC | 海士の挑戦事例から学ぶ地域創生　1 | 平山　雄大 | 1年以上 | 春クォーター | 金3時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 25 | GEC | 海士の挑戦事例から学ぶ地域創生　2 | 平山　雄大 | 1年以上 | 夏秋期 | 金3時限 | 早稲田 | 3 | | |
| 26 | GEC | 東南アジアにみる人間開発と異文化理解　1 | 二文字屋　脩 | 1年以上 | 春クォーター | 水5時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 27 | GEC | 東南アジアにみる人間開発と異文化理解　2 | 二文字屋　脩 | 1年以上 | 夏秋期 | 水5時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 28 | GEC | 企業と社会貢献　α | 林田　由那 | 1年以上 | 秋クォーター | 水3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 29 | GEC | 企業と社会貢献　β | 林田　由那 | 1年以上 | 冬クォーター | 水3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| － | GEC | 社会貢献のためのクリエイティブな発想と実践 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 東南アジアにおける復興と国際協力 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | インタビュー調査と空間調査の実践方法 | | | | | | | | 取下げ |

★領域・分野b 「スポーツ・教育・福祉」　　修了必要単位：2単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | ジェンダーと法Ⅰ | 石田　京子 | 3年以上 | 春学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | ジェンダーと法Ⅱ | 谷田川　知恵 | 3年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 教育 | 教育福祉論 | 小林　繁 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 教育 | NPO・NGO論とボランティア | 平山　雄大 | 1年以上 | 春学期 | 木5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 人科 | NPO／NGO論 | 金子　祥之 | 1年以上 | 春学期 | 水2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 6 | スポーツ | スポーツボランティア | 武藤　泰明 他 | 1年以上 | 秋学期 | 木4時限 | 東伏見 | 2 | | |
| 7 | スポーツ | スポーツ心理学 | 正木　宏明 | 2年以上 | 春クォーター | 月3時限<br>月4時限 | 所沢 | 2 | | |
| 8 | スポーツ | スポーツ文化論 | 川島　浩平 | 1年以上 | 春学期 | 月1時限 | 東伏見 | 2 | | 追加 |
| 9 | スポーツ | スポーツ産業論 | 佐野　毅彦 | 2年以上 | 春学期 | 月1時限 | 東伏見 | 2 | | |
| 10 | スポーツ | コーチング心理学 | 堀野　博幸 | 2年以上 | 秋学期 | フルオンデマンド | | 2 | | |
| 11 | 文構 | 障害学 | 岡部　耕典 | 1年以上 | 春学期 | 木4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 12 | 文構 | ソーシャルワーク概論 | | 1年以上 | | | 戸山 | 2 | | 2019年度休講 |
| 13 | 文構 | 福祉社会論 | 岡部　耕典 | 1年以上 | 秋学期 | 火4時限 | 戸山 | 2 | | |
| 14 | 文構 | ボランティアとNPO・NGO | 湯本　浩之 | 2年以上 | 秋学期 | 金3時限 | 戸山 | 2 | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | GEC | パラリンピック概論 | 平田　竹男 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 金1時限<br>+オンデマ | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 16 | GEC | 教育支援を通した社会貢献　α | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 17 | GEC | 教育支援を通した社会貢献　β | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 18 | GEC | 女性・しごと・ライフデザイン　α | 矢口　徹也 他 | 1年以上 | 春クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 19 | GEC | 女性・しごと・ライフデザイン　β | 矢口　徹也 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 金4時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| － | GEC | 複言語で育つ子どものことばの学び　１　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 複言語で育つ子どものことばの学び　１　02 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 複言語で育つ子どものことばの学び　２　01 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | 複言語で育つ子どものことばの学び　２　02 | | | | | | | | 取下げ |
| － | 社学 | 比較福祉論 １ | | | | | | | | 取下げ |
| － | 社学 | 比較福祉論 ２ | | | | | | | | 取下げ |

★領域・分野c 「農・環境・地域」　　修了必要単位：2単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 商学 | 起業家養成講座I　１ | 清水　洋 他 | 1年以上 | 春学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | コミュニティデザイン | 卯月　盛夫 | 1年以上 | 春学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 公共事業論 | 卯月　盛夫 | 2年以上 | 秋学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 環境表現論 I | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 5 | 社学 | 農と地域社会（総合講座） | 西原　是良 | 1年以上 | 春学期 | 水3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 人科 | 環境社会学 | 井上　真 | 1年以上 | 春学期 | 木2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 7 | 文構 | 環境変容と地域・都市の社会変動 | 浦野　正樹 | 2年以上 | 秋学期 | 火5時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 基幹 | 社会参加とボランティア | 浦野　正樹 他 | 1年以上 | 春学期 | 木4時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 9 | GEC | 環境問題と持続可能な社会 | 松岡　俊二 他 | 1年以上 | 春クォーター | 木3時限<br>木4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | GEC | 環境を経営する | 友成　真一 他 | 1年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 11 | GEC | 再生可能エネルギーを地域から考える。 | 岡田　久典 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 12 | GEC | 地域、環境、エネルギーを考える | 岡田　久典 他 | 1年以上 | 春クォーター | 金2時限<br>金3時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 13 | GEC | 環境とボランティア　１ | 岩井　雪乃 | 1年以上 | 秋クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 14 | GEC | 環境とボランティア　２ | 岩井　雪乃 | 1年以上 | 冬クォーター | 金5時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 15 | GEC | 食と経済　講義 | 弦間　正彦 他 | 1年以上 | 春クォーター | 月3時限 | 早稲田 | 1 | ○ | 2018年度以前科目名称：「食と経済　２」 |
| 16 | GEC | 食と経済　演習 | 弦間　正彦 他 | 1年以上 | 夏クォーター | 月3時限 | 早稲田 | 1 | ○ | 2018年度以前科目名称：「食と経済　１」 |
| 17 | GEC | 協同組合論　１ | 柏　雅之 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 18 | GEC | 協同組合論　２ | 柏　雅之 他 | 1年以上 | 冬クォーター | 木3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 19 | GEC | すみだ学 | 宮崎　里司 | 1年以上 | 冬クォーター | 金1時限<br>金2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 20 | GEC | 災害と社会貢献　α | 林田　由那 | 1年以上 | 春クォーター | 金3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 21 | GEC | 災害と社会貢献　β | 林田　由那 | 1年以上 | 夏クォーター | 金3時限 | 早稲田 | 1 | | |

★領域・分野d 「国際」　　修了必要単位：2単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科目名称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 国際協力論 | 萬歳　寛之 他 | 1年以上 | 春学期 | 土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | 地域研究（アフリカ） | 永岡　宏昌 | 3年以上 | 春学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | 国際NGO協力論 | 山田　満 | 3年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 平和構築論 | 山田　満 | 3年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 社学 | 移行経済論 I | トラン　ヴァン トゥ | 2年以上 | 春学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 社学 | 移行経済論 II | トラン　ヴァン トゥ | 2年以上 | 秋学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | 社学 | Politics in Modern Japan | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 8 | 社学 | Contemporary Japanese Foreign Policy | 本多　美樹 | 1年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | 人科 | アジア地域研究 | 井上　真 | 1年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 10 | 文構 | 国際教育論～国際化・グローバル化と教育 | 山西　優二 | 2年以上 | 秋学期 | 木2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 11 | 文 | 比較・国際教育学（教育改革の視点とその方策） | 山西　優二 | 2年以上 | 春学期 | 木2時限 | 戸山 | 2 | | |
| 12 | GEC | 国際開発援助　理論と実践 | 兵藤　智佳 | 1年以上 | 春クォーター | 木2時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 13 | GEC | ブータン地域研究 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 14 | GEC | 東南アジアのマイノリティと開発 | 二文字屋　脩 | 1年以上 | 秋クォーター | 水3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 15 | GEC | 文化活動（世界遺産とそのマネージメントの諸問題） | 西村　正雄 | 1年以上 | 春学期 | 水6時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 16 | GEC | 技術活動（保存技術）　1 | 小岩　正樹 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 火2時限 | 戸山 | 1 | | |
| 17 | GEC | 技術活動（保存技術）　2 | 小岩　正樹 他 | 1年以上 | 冬クォーター | 火2時限 | 戸山 | 1 | | |
| 18 | GEC | 世界が仕事場 1 01 | 高野　孝子 | 1年以上 | 春学期 | 月5時限<br>月6時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 19 | GEC | 世界が仕事場 2 01 | 高野　孝子 | 1年以上 | 秋クォーター | 月5時限<br>月6時限 | 早稲田 | 1 | | |
| － | GEC | 国際協力の実践と理論 | | | | | | | | 取下げ |
| － | GEC | グローバリゼーションと国際協力 | | | | | | | | 取下げ |

# ドイツ研究
*German Studies*

## 設置概要

グローバル化が時代のキーワードである。世界の人・物・情報の動きは拡大の一途をたどり、地域ごとの差違は見過ごされがちになってきているが、まさにそのためにこそ、複雑に絡まる現代社会の諸問題を解明しようと試みるとき、地域を足掛かりとした多角的な視点を持つことが重要となる。

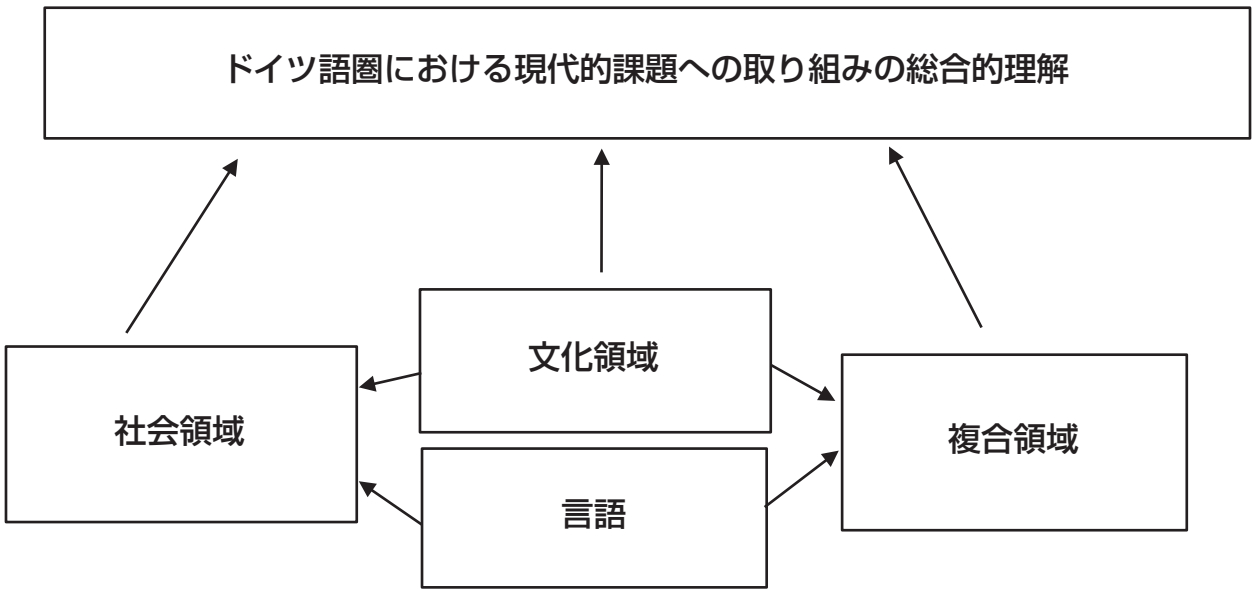
ドイツ語圏はかつて学術の中心地として知られ、また今日でも現代社会が突きつけるさまざまな課題に対して、それらを正面から受け止め、独自の道を歩みつつ解決への努力を行っている地域として注目されている。その姿を知ることは、グローバル化の中における日本の位置を知るための手がかりとなり、将来の日本を背負う学生は多くの示唆を得ることができる。

ドイツの社会や文化について、幅広い分野からの専門家を集め、多彩なテーマについての科目を配置し、多角的・学際的な視点から議論を深める。日本では残念ながら、ドイツ文化圏の上記のような取り組みについて十分知られているとはいえず、この副専攻ではそれを深く学ぶことができる。

## 到達点（学習成果）

ドイツ語圏の文化・社会の諸相に触れることで、より広い視野のもとで世界を見ることができる。他文化との取り組みは、知の組み換えをももたらす高度な知的作業である。知ると同時にその知を得るすべ、活かすすべを学ぶことは変革の激しい現代社会を生きる上で大いに役立つこととなろう。ドイツ語で行われる科目も開講するので、ドイツ語圏への留学を考えている学生にもその準備のために履修することができる。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

本副専攻の科目を体系的に履修することで、ドイツ語圏社会を広範に深く理解することができるでしょう。また、それぞれのテーマはドイツ語圏に固有なものではなく、世界に共通する問題も扱います。したがって、ドイツ語圏に直接関心を持たない学生でも、自らの問題を探求する場としてこの副専攻を利用することができます。

ほとんどの指定科目はドイツ語の知識なしに履修できますが、もちろんドイツ語を知っていれば理解がさらに深まりますし、最低限のドイツ語の知識は不可欠です。また、ドイツ語で行われる科目も用意していますので、ドイツ語圏への留学を考えている学生にもぜひ履修を勧めたいと思います。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 58 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項

追　加･･･2019年度より、指定科目として追加になった科目です。

取下げ･･･指定科目となっていましたが、2019年度から取下げとなった科目です。2018年度まで単位を修得していた場合には、修了単位として認定されます。

## 修了必要単位

16単位（領域・分野a：２単位以上、領域・分野b：２単位以上、領域・分野c：２単位以上、領域・分野d：２～４単位）以上

### ★領域・分野a　「社会領域」

修了必要単位：２単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | アカデミックリテラシー演習（ドイツ語の文献を読んでナチスを知る（ドイツ現代史））01 | 斉藤　寿雄 | １年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 2018年度科目名：「アカデミックリテラシー演習ＤⅠ　02」 |
| 2 | 政経 | 独語実践演習Ⅰ　01 | 斉藤　寿雄 | ３年以上 | 春学期 | 火３時限 | 早稲田 | 3 | | 追加 |
| 3 | 政経 | 独語実践演習Ⅰ　02 | 荻野　静男 | ３年以上 | 春学期 | 木５時限 | 早稲田 | 3 | | 追加 |
| 4 | 政経 | 独語実践演習Ⅱ　01 | 室井　禎之 | ３年以上 | 秋学期 | 木５時限 | 早稲田 | 3 | | 追加 |
| 5 | 政経 | 独語実践演習ⅢＡ　01 | 縣　公一郎 他 | ３年以上 | 春学期 | 火３時限 | 早稲田 | 3 | | 追加 |
| 6 | 政経 | 独語実践演習ⅢＢ　01 | 縣　公一郎 他 | ３年以上 | 秋学期 | 火３時限 | 早稲田 | 3 | | 追加 |
| 7 | 法学 | 外国法総論（ドイツ法 Ⅱ） | 田村　達久 | ２年以上 | 秋学期 | 火３時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | 教育 | ヨーロッパの文化（近代システム誕生の地） | 高橋　順一 | １年以上 | 春学期 | 金４時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | 人科 | ドイツ近現代史 | 村上　公子 | １年以上 | 秋学期 | 火４時限 | 所沢 | 2 | | |
| 10 | GEC | ドイツ語テレビ会議（生活・社会） | 星井　牧子 | １年以上 | 秋学期 | 火５時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 11 | GEC | ナチスの全体像を探る試み　1 | 斉藤　寿雄 | １年以上 | 秋ｸｫｰﾀｰ | 水２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | ナチスの全体像を探る試み　2 | 斉藤　寿雄 | １年以上 | 冬ｸｫｰﾀｰ | 水２時限 | 早稲田 | 1 | | |
| － | 政経 | アカデミックリテラシー演習ＢⅠ　01 | 生駒　美喜 | １年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 取下げ |
| － | 政経 | アカデミックリテラシー演習ＥⅠ　08 | | １年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 取下げ |
| － | 政経 | アカデミックリテラシー演習ＢⅡ　01 | 縣　公一郎 他 | ２年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 取下げ |
| － | 政経 | アカデミックリテラシー演習ＢⅢ　03 | 縣　公一郎 他 | ２年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 取下げ |

### ★領域・分野b　「文化領域」

修了必要単位：２単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 教育 | 複合文化学特論16 | 北山　雅昭 | ２年以上 | 春学期 | 金４時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 教育 | ドイツ語圏の文学 | 高橋　順一 | ２年以上 | 春学期 | 金３時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 文 | ドイツ文学概論１ | 金　志成 | ２年以上 | 春学期 | 月５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | 文 | ドイツ文学概論２ | 西尾　宇広 | ２年以上 | 春学期 | 木４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 5 | 文 | ドイツ言語文化論 | クラヴィッター　アルネ | ２年以上 | 春学期 | 木４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 6 | 文 | ウィーン文化論 | 藤井　明彦 他 | １年以上 | 春学期 | 火３時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | 文 | ドイツ比較文化論 | 山本　浩司 他 | ２年以上 | 秋学期 | 火５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 文 | ドイツ語圏の思想 | 前田　良三 | ２年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 戸山 | 2 | | |
| 9 | 文 | ドイツ語圏の文化 | 藤井　明彦 | ２年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 戸山 | 2 | | |
| 10 | GEC | ドイツ語テレビ会議（言語・文化） | 星井　牧子 | １年以上 | 春学期 | 火５時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |

### ★領域・分野c　「複合領域」

修了必要単位：２単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | アカデミックリテラシー演習（複言語で学ぶ社会文化）　01 | 縣　公一郎 他 | １年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 早稲田 | 2 | | 追加 |
| 2 | 法学 | 総合講座「ドイツ語圏を知る」 | 近藤　孝弘 他 | １年以上 | 春学期 | 月５時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | EU・ドイツの都市づくり | 卯月　盛夫 | ２年以上 | 秋学期 | 水５時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | GEC | 女の愛と生涯―独日比較 | 村上　公子 | １年以上 | 秋学期 | 木４時限 | 早稲田 | 2 | | 2018年度以前科目名称：「女の愛と生涯―独日比較　１・２」 |
| 5 | GEC | ドイツ人の環境意識を探る | 室井　禎之 | １年以上 | 春学期 | 水２時限 | 早稲田 | 2 | | |

### ★領域・分野d　「言語」

修了必要単位：２～４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（夏季）Ａ01 | ケイト　エルウッド 他 | １年以上 | 夏秋期 | 無その他 | その他 | 2 | | |
| 2 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（春季）Ａ01 | ケイト　エルウッド 他 | １年以上 | 春学期 | 無その他 | その他 | 2 | | |
| 3 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（春季）Ｂ01 | ケイト　エルウッド 他 | １年以上 | 春学期 | 無その他 | その他 | 4 | | |
| 4 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（夏季）Ｂ01 | ケイト　エルウッド 他 | １年以上 | 夏秋期 | 無その他 | その他 | 4 | | |
| 5 | GEC | ドイツ語総合基礎Ａ１－１　01 | 糸瀬　龍 他 | １年以上 | 春学期 | 水２時限<br>金２時限 | 早稲田 | 2 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 59　　19/02/15 10:59　v5.51

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望動 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | GEC | ドイツ語総合基礎Ａ１－１　02 | 室井　禎之 他 | １年以上 | 秋学期 | 水２時限<br>金１時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 7 | GEC | ドイツ語総合基礎Ａ１－２　01 | 糸瀬　龍 他 | １年以上 | 春学期 | 月４時限<br>水５時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | GEC | ドイツ語総合基礎Ａ１－２　02 | 岡山　具隆 他 | １年以上 | 秋学期 | 火５時限<br>金２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | GEC | ドイツ語総合基礎Ａ２－１ | 糸瀬　龍 他 | １年以上 | 春学期 | 月５時限<br>水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | GEC | ドイツ語総合基礎Ａ２－２ | 糸瀬　龍 他 | １年以上 | 秋学期 | 月５時限<br>水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 11 | GEC | ドイツ語コミュニケーション（基礎） | 高岡　佑介 他 | １年以上 | 春学期 | 火３時限 | 早稲田 | 1 | ○ | 2018年度科目名：<br>「ドイツ語コミュニケーション（基礎）　01」 |
| 12 | GEC | ドイツ語コミュニケーション（応用） | 星井　牧子 他 | １年以上 | 春学期 | 金３時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 13 | GEC | ドイツ語コミュニケーション（上級） | 星井　牧子 他 | １年以上 | 秋学期 | 金３時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 14 | GEC | ドイツ語コミュニケーション（続基礎） | 高岡　佑介 他 | １年以上 | 秋学期 | 火３時限 | 早稲田 | 1 | ○ | |
| 15 | 各学部 | 各学部　提供ドイツ語科目 | | | | | | | | |
| － | GEC | ドイツ語コミュニケーション（基礎）　02 | | | | | | | | 取下げ |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 60　　19/02/15 10:59　v5.51

# ジャーナリズムとメディア表現

*Journalism and Media Practice*

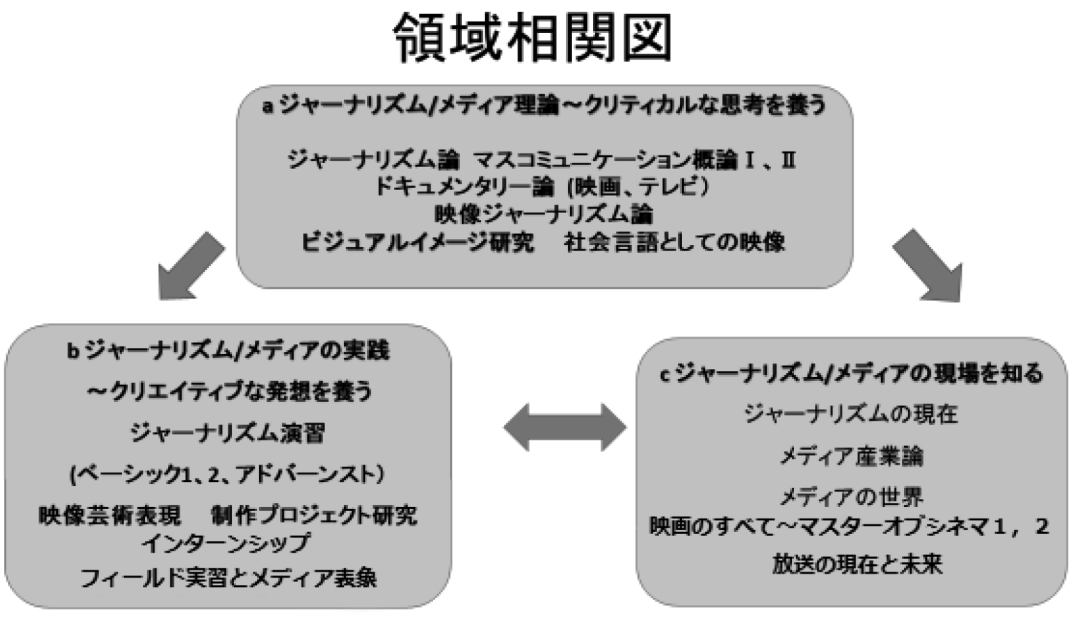
## 設置概要

現在、ジャーナリズムは危機の時代を迎えています。権力を掌握する人物が根拠のない発言をする、自己の主張に合わない意見を退ける、多様な価値観を認めないなど閉塞的な状況が世界中で見られ、真実が犠牲になる「ポスト真実」の時代といわれています。マスメディアはこれまで、ニュースのゲート・キーパー（門番）として、出来事を発見し、解釈し、発信してきましたが、テクノロジーが発達し、あらゆる情報がネットを通して入手できる今日、私たちはマスメディアから発信される情報を待つのではなく、それぞれの都合に合った時間に自由に情報を入手します。情報をコントールする主体がメディアから市民へ移行するパラダイムシフトが起きようとしている今、ジャーナリズムは従来の一方通行的な情報提供から、双方向的な対話型へと変換を迫られています。しかし、テクノロジーが発達し、ジャーナリズムの表現形式が変わろうとしても、「公共性」「公平性」「正確性」などのジャーナリズムの使命には変化はありません。むしろ、フェイクニュースといわれる誤報、ねつ造、誇張、プロパガンダがネット上に流布される時代だからこそ、ジャーナリストを志す人だけでなく、メディアの発信者となり得るすべての人がジャーナリズムについて考え、学ぶことが重要です。クリティカルな思考を養うａ、実践活動からクリエイティブな発想を養う領域ｂ、新聞記者、テレビディレクター、メディアプランナーの経験知からメディアの生産、経営、流通、テクノロジーなどの報道の現場を知る領域ｃから構成されています。

## 到達点（学習成果）

・ジャーナリズムとは何か、ジャーナリストの役割や使命はどのようなものか、ジャーナリズムはどのように変わろうとしているかについて充分に考察し、理解できる。
・メディアが発信する情報や現実をクリティカルかつ多角的に見ることができる。
・取材や映像作品の制作などの実践を体験することで、メディアを主体的に活用できるようになる。
・メディア作品の鑑賞やメディア制作のためのディスカッションを通して、コミュニケーション力を養うことができる。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

将来、ジャーナリストを志す人、メディア産業に関心がある人、メディアを通じて発信を試みたい人、社会で起きていることに関心を持ち、より良い社会を形成したいと考えている人を歓迎します。主体的に授業に参加することを期待します。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 54　19/02/15 10:59　v5.51

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

16単位（領域・分野ａ：６単位　領域・分野ｂ：６単位　領域・分野ｃ：４単位）以上

### ★領域・分野ａ　「ジャーナリズム／メディアの理論～クリティカルな思考を養う」　修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | ジャーナリズム論　01 | 瀬川　至朗 | ２年以上 | 秋学期 | 月３時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 2 | 政経 | 映像ジャーナリズム論　01 | 髙橋　恭子 | ２年以上 | 秋学期 | 火３時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 3 | 社学 | 社会言語としての映像 | 佐々木　友輔 | ２年以上 | 春学期 | 月５時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 4 | 社学 | ヴィジュアルイメージ研究 | 洞ヶ瀬　真人 | ２年以上 | 秋学期 | 金４時限<br>金５時限 | 早稲田 | ４ | | |
| 5 | GEC | ドキュメンタリー論　（映画） | 野中　章弘 | １年以上 | 春クォーター | 金６時限<br>金７時限 | 早稲田 | ２ | ○ | |

### ★領域・分野ｂ　「ジャーナリズム／メディアの実践～クリエイティブな発想を養う」　修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | GEC | 映像・芸術表現　01 | 髙橋　恭子 他 | １年以上 | 夏季集中 | 無その他 | 早稲田 | ２ | ○ | |
| 2 | GEC | 映像・芸術表現　02 | | １年以上 | | | 早稲田 | ２ | ○ | 2019年度休講 |
| 3 | GEC | 制作プロジェクト研究 | 髙橋　恭子 他 | １年以上 | 春季集中 | 無その他 | 西早稲田 | ２ | ○ | |
| 4 | GEC | ジャーナリズム演習　ベーシック　１ | 野中　章弘 | １年以上 | 秋クォーター | 木３時限<br>木４時限 | 早稲田 | ２ | ○ | |
| 5 | GEC | ジャーナリズム演習　ベーシック　２ | 野中　章弘 | １年以上 | 冬クォーター | 木３時限<br>木４時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 6 | GEC | ジャーナリズム演習　アドバーンスト | 野中　章弘 | ２年以上 | 春クォーター | 月３時限<br>月４時限 | 早稲田 | ２ | ○ | |
| 7 | GEC | フィールド実習とメディア表象 | 金　敬黙 | １年以上 | 冬クォーター | 火５時限<br>火６時限 | 早稲田 | ２ | ○ | |
| 8 | GEC | インターンシップ実習　03（マスメディア） | 野中　章弘 他 | １年以上 | 秋学期 | 土４時限<br>土５時限 | 早稲田 | ２ | ○ | |

### ★領域・分野ｃ　「ジャーナリズム／メディアの現場を知る」　修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 民間放送の現在と未来　01 | 髙橋　恭子 | １年以上 | 春学期 | 木２時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 2 | 政経 | メディア産業論　01 | 瀬川　至朗 | ３年以上 | 秋学期 | 火５時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 3 | 政経 | メディアの世界 | 瀬川　至朗 | ３年以上 | 春学期 | 火５時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 4 | GEC | ジャーナリズムの現在（石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞記念講座） | 瀬川　至朗 | １年以上 | 春学期 | 木４時限 | 早稲田 | ２ | | |
| 5 | GEC | 映画のすべて　マスターズ・オブ・シネマ　１　※１ | 土田　環 他 | １年以上 | 春クォーター | 土４時限 | 早稲田 | １ | ○ | |
| 6 | GEC | 映画のすべて　マスターズ・オブ・シネマ　２　※１ | 土田　環 他 | １年以上 | 夏クォーター | 土４時限 | 早稲田 | １ | | |

※１　基幹・創造・先進理工学部生は、理工設置科目を受講してください。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 55　　19/02/15 10:59　v5.51

# ことばの科学

*Science of Language*

## 設置概要

早稲田大学において、言語を対象とした研究に関する科目が複数の箇所で開講されており、それらの多くがオープン科目となっている（2018年度において分野コードの中分類が応用言語学、外国語教育学、言語情報学、理論言語学となっているオープン科目は約40科目開講されている）。それらをまとめ、互いに関連し合う科目の位置付けを示した上で、ひとつの副専攻として学生に提示する。

工学的な観点から言語を研究対象とした分野は計算言語学・自然言語処理（あるいは音声言語に特化した場合音声工学）と呼ばれ、いわゆる理系の学問として扱われている。一方で言語学は、形態論、統語論、音韻論、語用論、意味論など細分化され、文系の学問として扱われている。また、自然言語処理、言語学の成果を応用して言語教育における問題を解決しようとする外国語教育という分野は、昨今、英語学習・教育に注目が集まる中、重要な分野となってきている。早稲田大学においてはここで挙げたそれぞれの分野を単独で学ぶことが可能ではあるが、これらの分野が互いに関連していることは学生に明示されていない。個々の科目としては優れた内容の科目がすでに数多くオープン科目として提供されているため、これらの分野を科目群として提示することは、それぞれの分野に興味を持つ学生にとって有益である（教育学部英語英文学科では言語学、英語教育に関する科目が提供されているがこれらの科目の多くはオープン科目ではない。また、国際教養学部においても言語学に関する科目をまとめて“Concentration”として提供しているが、これらの科目の多くもまたオープン科目ではない。両学部において自然言語処理、計算言語学に関する科目は提供されていない）。例えば、現在の英語教育においては自然言語処理の成果を利用したさまざまな学習システムが利用されているが、外国語教育という分野では、これら学習システムがどのような技術に支えられているかを学ぶ機会はない。また、自然言語処理を学ぶ学生は、その技術が利用される外国語教育においてどのようなニーズがあるかを知らない。さらに、言語学を学ぶ学生は言語学の理論が自然言語処理においてどのように活用されているかを知る機会は少ない。本副専攻は、言語を対象とした研究に関する科目をひとつのまとまりとして学生に提示し、言語に関する研究をまったく知らない学生にとっては言語に関する研究の概要を理解できる学際的副専攻でありながら、計算言語学・自然言語処理、言語学、外国語教育を主専攻として学ぶ学生の視野を広げるという目的がある。

## 到達点（学習成果）

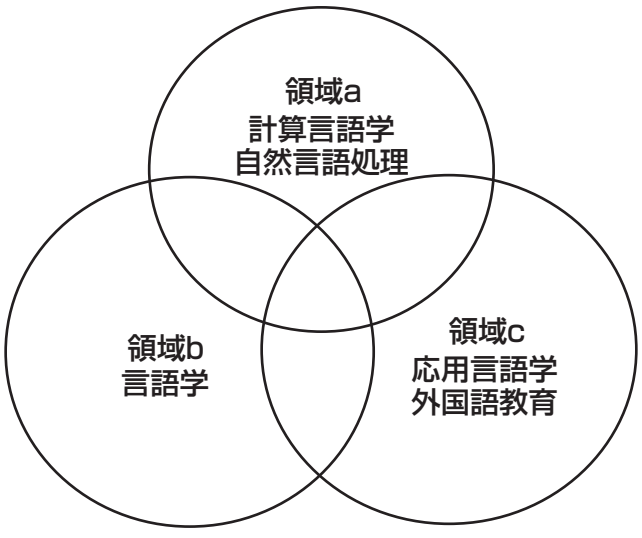
自然言語処理、言語学、応用言語学・外国語教育、それぞれの研究目的を理解し、受講者自らがこれら分野の相互関連性を見出せるような知識を身に付ける。多様な視点から言語を捉えることができる知識を身に付ける。また、自然言語処理、言語学、応用言語学・外国語教育のいづれかを主専攻として学ぶ学生は自らの主専攻を異なる視点から捉えることができるような知識、考え方を身に付ける。

## カリキュラムマップ

本副専攻で対象とする言語に関する研究は言うまでもなくそれぞれが独立した分野ではない。計算言語学・自然言語処理における研究は伝統的な言語学の知見に基づいている。外国語教育・学習においては自然言語処理の研究成果が応用されたさまざまな語学支援システムが利用されている。言語学の成果が外国語教育・学習に応用されている例は枚挙にいとまがない。

下図に示すように、本副専攻が提供する科目は相互に関連しあっている。

本副専攻の特徴は、これらの分野の科目を同時に履修することで、単独の分野の科目を履修するだけでは得られない知見を受講者が得ることである。




## 履修を希望する学生へのメッセージ

自分を表現するため、他者を理解するための手段である「ことば」に関するさまざまな知識を身につけ、それらを自身の学習、研究に役立てて欲しいと思います。また、「ことば」に関する研究はいくつもの学問分野で行われており、「ことば」に対するアプローチがいかに多様であるかを理解することにより、さまざまな考えを取り入れ自ら考える機会を本福専攻が提供できればと思っています。「ことば」に関する学問は広く、本副専攻が提供する科目はまだ限られていますが、毎年少しづつ科目を増やしていく予定です。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 40 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項
　　自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（領域・分野a：６単位　領域・分野b：６単位　領域・分野c：４単位）以上

### ★領域・分野a　「計算言語学・自然言語処理」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 国際教養 | Introduction to Text Mining and Digital Humanities　51 | シャルロート　ヨアヒム | １年以上 | 秋学期 | 火２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 2 | 国際教養 | Programming for Social and Cultural Data Analysis 01 | シャルロート　ヨアヒム | ２年以上 | 春学期 | 火２時限<br>木３時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 文構 | ことばの統計 | 市村　太郎 | １年以上 | 秋学期 | 金５時限 | 戸山 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 4 | 基幹 | ことばの数理 | 匂坂　芳典 | ３年以上 | 春学期 | 水１時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 5 | GEC | 言語学（統語論の基礎的概念とその応用） | 原田　康也 | １年以上 | 冬クォーター | 水１時限<br>水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | GEC | 言語学（形式意味論入門） | 原田　康也 | １年以上 | 夏クォーター | 水１時限<br>水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | GEC | 初めて学ぶ『言語と情報』 | 原田　康也 | １年以上 | 春クォーター | 水１時限<br>水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | GEC | 初めて学ぶ『計算言語学』 | 原田　康也 | １年以上 | 秋クォーター | 水１時限<br>水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | GEC | 学習者言語の分析（基礎）　1 | 近藤　悠介 | １年以上 | 春クォーター | 火３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | 学習者言語の分析（基礎）　2 | 近藤　悠介 | １年以上 | 夏クォーター | 火３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | 学習者言語の分析（応用）　1 | 近藤　悠介 | １年以上 | 秋クォーター | 火３時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 12 | GEC | 学習者言語の分析（応用）　2 | 近藤　悠介 | １年以上 | 冬クォーター | 火３時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★領域・分野b　「言語学」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 言語学Ⅰ　B（武黒） | 武黒　麻紀子 | １年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | 言語学Ⅰ　A（首藤） | 首藤　佐智子 | １年以上 | 春学期 | 木４時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 法学 | 言語学Ⅰ　D（乙黒） | 乙黒　亮 | １年以上 | 秋学期 | 火２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 国際教養 | Acoustics and Auditory Phonetics | 近藤　眞理子 | ３年以上 | 春学期 | 月３時限<br>月４時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 文構 | 世界の言語と日本語 | 吉田　健二 | １年以上 | 春学期 | 木３時限 | 戸山 | 2 | | |
| 6 | 文構 | 語用論入門 | 酒井　智宏 | １年以上 | 春学期 | 火５時限 | 戸山 | 2 | | |
| 7 | 文構 | 認知言語学入門 | 酒井　智宏 | １年以上 | 秋学期 | 木３時限 | 戸山 | 2 | | |
| 8 | 文構 | 音から見ることばと文化 | 竹内　京子 | １年以上 | 春学期 | 金４時限 | 戸山 | 2 | | |
| 9 | 基幹 | 「ことば」の世界 | | １年以上 | | | | 2 | | 2019年度休講 |
| 10 | GEC | 言語学（形態論） | 乙黒　亮 | １年以上 | 秋クォーター | 水２時限<br>＋オンデマンド | 早稲田 | 2 | | |
| 11 | GEC | 言語学（言語類型論） | 乙黒　亮 | １年以上 | 夏クォーター | 水２時限<br>＋オンデマンド | 早稲田 | 2 | | |
| 12 | GEC | 言語学（統語論・入門） | 乙黒　亮 | １年以上 | 春クォーター | 水２時限<br>＋オンデマンド | 早稲田 | 2 | | |
| 13 | GEC | 文法理論入門　1 | 近藤　悠介 | １年以上 | 秋クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 14 | GEC | 文法理論入門　2 | 近藤　悠介 | １年以上 | 冬クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★領域・分野c　「応用言語学・外国語教育」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 言語学　01 | 室井　禎之 | １年以上 | 秋学期 | 火２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 法学 | 言語学Ⅰ　C（ストックウェル） | ストックウェル　グレン | １年以上 | 春学期 | 水２時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 法学 | 言語学Ⅰ　B（星井） | | １年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 4 | 国際教養 | English Phonetics and Phonology 01 | 近藤　眞理子 | ２年以上 | 春学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 5 | 国際教養 | Japanese Phonetics and Phonology 51 | 近藤　眞理子 | ２年以上 | 秋学期 | 木２時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 6 | 文構 | 言語学入門 | 森田　彰 | １年以上 | 春学期 | 土３時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | GEC | 教育データ分析入門　1 | 近藤　悠介 | １年以上 | 春クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 8 | GEC | 教育データ分析入門　2 | 近藤　悠介 | １年以上 | 夏クォーター | 水４時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | Issues in Teaching and Learning English Pronunciation 1 | | １年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 10 | GEC | Issues in Teaching and Learning English Pronunciation 2 | | １年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 11 | GEC | Language and Society 01 | ニューエル　アントニー | １年以上 | 春学期 | 火１時限 | 早稲田 | 2 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 41　　19/02/15 10:59　v5.51

# 台湾研究
*Taiwan Studies*

## 設置概要

「台湾研究」は、「地域研究」という学問領域の一分野である。台湾という地域は、地理的には、日本の沖縄県南方、西太平洋海上交通路の中央に位置し、台湾海峡を挟んで中国大陸と向かい合っている。民族的には、本来、オーストロネシア語族に属する先住民族の居住地であったが、現代に到るまで、オランダ、清朝、日本、中華民国という様々な政権により統治されてきた。そのため政治的・経済的・文化的に多元的な発展を遂げてきたことが、台湾社会の特徴の一つと考えられる。このような地理的・民族的・歴史的事情は、台湾という地域に、学際的な（interdisciplinary）地域研究（area studies）の対象の一つにふさわしい濃厚な個性を付与している。また、現今の国際社会における台湾とは「国家承認されていない国民国家」という特殊性を有している。「台湾研究」という地域研究の存在理由がここにある。このような、日本の身近に存在しつつも複雑で個性的な存在である台湾を考えることは、日本の近隣を理解する上でも、また従来私たちが慣れ親しんできた国際社会や国家という概念を再考する上でも、たいへん意義深いものである。

上記の趣旨をふまえ、本学では、2003年より、台湾研究所（プロジェクト研究所）を立ち上げ、これまで、様々な研究活動に加えて、日本初の体系的な台湾研究の教育プログラムとして、本学で学ぶ学生を対象に「台湾テーマスタディ」を運営するなど、教育面でも積極的に活動してきた。本副専攻は、「台湾テーマスタディ」での経験・内容を継承しつつ、より質的に充実させた体系的なカリキュラムによる地域研究としての「台湾研究」の面白さを受講生に伝えたい。

## 到達点（学習成果）

受講生は、本副専攻で提供される多彩な講義・演習科目および中国語学科目および英語で開講される専門科目の履修に加えて、フィールドワークや学生交流、研究会や読書会などの様々な課外活動への参加機会の提供を通じて、台湾に関する幅広い専門知識を身に着けると同時に、中国語および英語についても一定のコミュニケーション力の習得を到達点として設定する。また本副専攻では、通常の学部カリキュラムと異なり「台湾」という研究対象を軸としながら、歴史学、政治学、国際関係論、地域研究、語学学習など、多岐にわたるディシプリンを学際的に学び、グローバルな視点に立った台湾研究の在り方・学問の奥深さ、面白さを理解してもらうことを目指す。

## カリキュラムマップ

「東アジア地域から見た台湾」を幅広く学ぶため、本学際的副専攻では、学内で開講している台湾をはじめとする関連の科目を有機的に連動させ、受講生が自身のレベルにあわせて、台湾および東アジア地域に対する理解を深めることを目指している。そのために通常の講義科目に加え、語学の学習プログラムやプロジェクト研究所である台湾研究所の協力の下、講演会、シンポジウム、現地調査などへの参加も一部可能にし、受講生の理解を促進していきたい。具体的な科目配置及び相関図は下記の通りである。

## 履修を希望する学生へのメッセージ

テレビや雑誌などで人気の観光先として知られる台湾は、実は日本と国交が無いにも関わらず、年間400万人以上もの人が日本を訪れ、東日本大震災時には総額250億円もの義援金で日本を支援してくれた不思議な隣人である。また、近年の「報道の自由ランキング」では、アジアトップにランクインしており、言論の自由や活発な社会運動に支えられた台湾の民主主義のダイナミズムは、常に私たちを驚かせるものの、国際政治の転変の中で国家承認を失った「非承認国家」でもある。本学際的副専攻では、社会内部に多様なエスニックグループ、多様な言語、様々な歴史観を抱える不思議な存在・台湾について、より体系的かつ学際的に学べるカリキュラムを提供する。政治によって色分けされている知識をひとまずおいて、異なる角度から自分の言葉で自らの台湾像を整理することで、日本を含めた東アジアから、「国家とは何か？/歴史とは何か？」を問いなおす新たなきっかけを見いだすことができるだろう。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 56 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

## 修了必要単位

20単位（領域・分野a：６単位　領域・分野b：６単位　領域・分野c：４単位　領域・分野d：４単位）以上

### ★領域・分野a　「複合領域」

修了必要単位：６単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 東アジア論　01 | 紀　旭峰 | 3年以上 | 秋学期 | 火2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 政経 | 地域研究（台湾地域研究論）（地域研究入門・再履修者用） | 若林　正丈 | 3年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | 2018年度以前科目名称：「地域研究（台湾地域研究論）」 |
| 3 | 法学 | 文学Ⅰ　D（藤井） | 藤井　省三 | 1年以上 | 春学期 | 火4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | GEC | 台湾を知る（入門） | 江　正殷 | 1年以上 | 春クォーター | 土3時限<br>土4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 5 | GEC | 台湾を知る（発展） | 江　正殷 | 1年以上 | 秋クォーター | 土3時限<br>土4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 6 | GEC | 中国総合講座（入門） | 江　正殷 | 1年以上 | 夏クォーター | 土3時限<br>土4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 7 | GEC | 中国総合講座（発展） | 江　正殷 | 1年以上 | 冬クォーター | 土3時限<br>土4時限 | 早稲田 | 2 | ○ | |
| 8 | GEC | 台湾現代文化研究　1 | 松岡　格 | 1年以上 | 春クォーター | 月3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 9 | GEC | 台湾現代文化研究　2 | 松岡　格 | 1年以上 | 夏クォーター | 月3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 10 | GEC | 台湾政治研究　1 | 若林　正丈 | 1年以上 | 春クォーター | 水2時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 11 | GEC | 台湾政治研究　2 | 若林　正丈 | 1年以上 | 夏クォーター | 水2時限 | 早稲田 | 1 | | |

### ★領域・分野b　「歴史学」

修了必要単位：６単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 日本政治思想史　01 | 遠藤　正敬 | 3年以上 | 春学期 | 水3時限<br>木3時限 | 早稲田 | 4 | | |
| 2 | 政経 | Japanese Political Thought A　01 | 梅森　直之 他 | 3年以上 | 春学期 | 金2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 政経 | Japanese Political Thought B　01 | 梅森　直之 他 | 3年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 歴史学（日中関係史）1 | 劉　傑 | 1年以上 | 春学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 社学 | 歴史学（日中関係史）2 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 6 | GEC | 帝国思想と台湾　1 | 若林　正丈 他 | 1年以上 | 秋クォーター | 火2時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | GEC | 帝国思想と台湾　2 | 若林　正丈 | 1年以上 | 冬クォーター | 火2時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 8 | GEC | Introduction to Taiwanese History　1 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |
| 9 | GEC | Introduction to Taiwanese History　2 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 1 | | 2019年度休講 |

### ★領域・分野c　「国際関係」

修了必要単位：４単位以上

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 政経 | 国際関係論入門　01 | 多湖　淳 | 1年以上 | 秋学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 政経 | 国際政治経済研究　秋学期（若林正丈） | 若林　正丈 | 3年以上 | 未定 | 未定 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 政経 | Japanese Political History　01 | 浅野　豊美 | 1年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 留学 | Conflict Resolution and Social Innovation in Practice α 01 | 中野　佳裕 | 1年以上 | 春クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 5 | 留学 | Conflict Resolution and Social Innovation in Practice α 02 | 中野　佳裕 | 1年以上 | 秋クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 6 | 留学 | Conflict Resolution and Social Innovation in Practice β 01 | 中野　佳裕 | 1年以上 | 夏クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 7 | 留学 | Conflict Resolution and Social Innovation in Practice β 02 | 中野　佳裕 | 1年以上 | 冬クォーター | 火3時限 | 早稲田 | 1 | | |
| 8 | 留学 | 平和をつくるプロフェッショナル 01 | 小山　淑子 他 | 1年以上 | 春学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 9 | 留学 | 平和をつくるプロフェッショナル 02 | 中野　佳裕 | 1年以上 | 秋学期 | 火5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 10 | GEC | 台湾をめぐる戦後東アジア国際関係史 | 家永　真幸 | 1年以上 | 秋クォーター | 木4時限<br>木5時限 | 早稲田 | 2 | | |

### ★領域・分野d　「語学」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（夏季）A 01 | ケイト　エルウッド 他 | 1年以上 | 夏秋期 | 無その他 | その他 | 2 | | |
| 2 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（春季）A 01 | ケイト　エルウッド 他 | 1年以上 | 春学期 | 無その他 | その他 | 2 | | |
| 3 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（春季）B 01 | ケイト　エルウッド 他 | 1年以上 | 春学期 | 無その他 | その他 | 4 | | |
| 4 | 留学 | 海外語学・文化研修プログラム（夏季）B 01 | ケイト　エルウッド 他 | 1年以上 | 夏秋期 | 無その他 | その他 | 4 | | |
| 5 | GEC | 中国語会話を学ぶ　基礎編 | | 1年以上 | | | 戸山 | 2 | | 2019年度休講 |
| 6 | GEC | 中国語会話を学ぶ　入門編 | | 1年以上 | | | 戸山 | 2 | | 2019年度休講 |
| 7 | 各学部 | 各学部　提供中国語科目 | | | | | | | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 57　　19/02/15 10:59　v5.51

# 都市・地域研究

*Urban and Regional Studies*

## 設置概要

都市とは人間の高度な文明社会を支える器（うつわ）です。2030年、世界人口の２／３以上が都市に住むようになります。グローバル化とともに、社会・政治・経済が複雑化、ネットワーク化し、とくにアジア・アフリカ地域では巨大都市が出現しつつあります。途上国では、スラムや環境問題が問題です。一方、西欧や先進国では成熟社会化、縮退都市化が進んでいます。都市に期待される役割、意味、かたち、しくみ、表象は刻々と変わっていきます。それにしたがって、課題、政策、計画、開発も変わります。

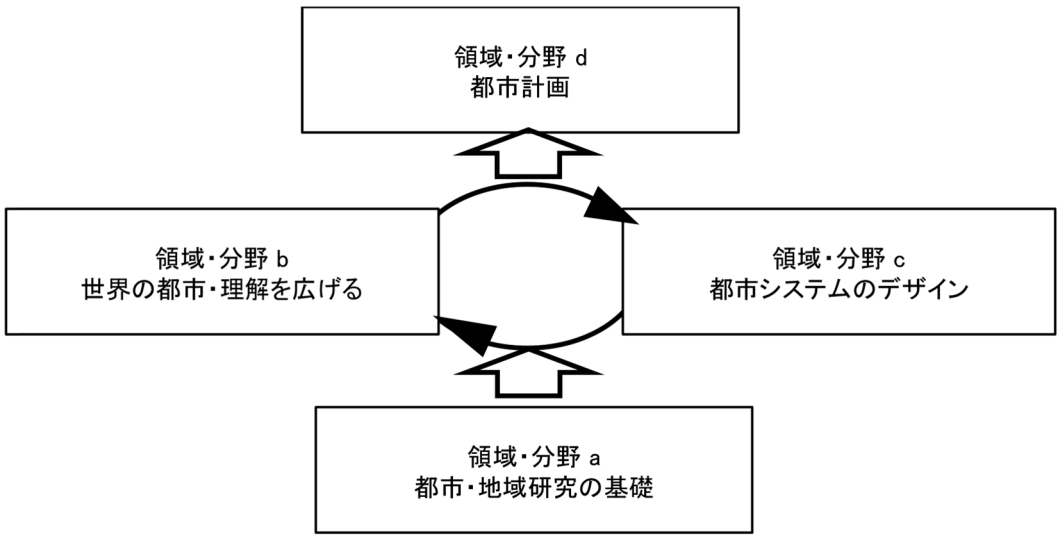
都市・地域研究（Urban and Regional Studies）は、巨大な都市システムを理解し、制御するための固有の領域です。具体的なテーマとしては、持続可能な建物、適切な住居、歴史的遺産の保全・活用、交通・輸送、災害への備え、リスク低減、公共空間、都市と農村のつながり、子ども、若者の環境、先住民の権利、健康都市づくりなどがあります。そして、都市計画を学びます。

## 到達点（学習成果）

以下の４つの学修成果を目標の到達点とします。

（１）グローバル化よりおきている都市・地域のイシューを理解できることとします。
（２）世界の多様な都市・地域について理解を広げます。
（３）都市理論を深め、都市システムのデザインを理解できるようにします。
（４）都市計画についてその基本的な考え方が理解できるようにします。

## カリキュラムマップ




## 履修を希望する学生へのメッセージ

都市づくりの専門家を目指すカリキュラムであり、また行政や公共政策を学際的に学ぶ学生のためのカリキュラムです。





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd Page 62 19/02/15 10:59 v5.51

# 指定科目一覧

※備考欄の記載事項
　　自学部優先科目･･･抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

## 修了必要単位

16単位（領域・分野 a：４単位　領域・分野 b：４単位　領域・分野 c：４単位 領域・分野 d：４単位）以上

### ★領域・分野a 「都市・地域研究の基礎」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 教育 | 都市地理学 | 佐藤　英人 | 2年以上 | 春学期 | 月1時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 国際教養 | Introduction to Urban Studies　01 | ディマ　クリスティアン | 1年以上 | 春学期 | 木3時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 文構 | 芸術と社会 | 坂上　桂子 | 1年以上 | 秋学期 | 火3時限 | 戸山 | 2 | | |
| 4 | 文構 | 地域・都市論研究 | 浦野　正樹 | 2年以上 | 秋学期 | 火4時限 | 戸山 | 2 | | 2019年度休講 |
| 5 | GEC | 現代都市・地域論 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 6 | GEC | 都市・地域概論 | 早田　宰 他 | 1年以上 | 夏ｸｫｰﾀｰ | 金5時限<br>金6時限 | 早稲田 | 2 | | |

### ★領域・分野b 「都市・地域の理解を広げる」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 法学 | 地域研究（アフリカ） | 永岡　宏昌 | 3年以上 | 春学期 | 月2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | 都市科学概論 | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 3 | 社学 | EU・ドイツの都市づくり | 卯月　盛夫 | 2年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 環境表現論 Ⅰ | | 1年以上 | | | 早稲田 | 2 | | 2019年度休講 |
| 5 | 人科 | 都市社会学 | 臼井　恒夫 | 1年以上 | 秋学期 | 金2時限 | 所沢 | 2 | | |
| 6 | 国際教養 | Urban Studies | ディマ　クリスティアン | 3年以上 | 秋学期 | 水4時限<br>水5時限 | 早稲田 | 4 | | 自学部優先科目 |
| 7 | 文構 | 現代中欧世界とその歴史 | 森　元孝 | 3年以上 | 秋学期 | フルオンデマンド | | 2 | | |
| 8 | 文構 | アジアの地域・都市の歴史 | 加藤　圭木 | 2年以上 | 秋学期 | 月3時限 | 戸山 | 2 | | |

### ★領域・分野c 「都市システムのデザイン」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 地理情報システム論 Ⅰ | 大場　亨 | 1年以上 | 春学期 | 土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 社学 | 地理情報システム論 Ⅱ | 大場　亨 | 1年以上 | 秋学期 | 土2時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 3 | 社学 | コミュニティデザイン | 卯月　盛夫 | 1年以上 | 春学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 4 | 社学 | 居住環境論 | 早田　宰 | 3年以上 | 秋学期 | 水3時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 5 | 社学 | 地域計画システム論 Ⅰ | 落合　基継 | 1年以上 | 春学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 6 | 社学 | 地域計画システム論 Ⅱ | 落合　基継 | 1年以上 | 秋学期 | 月4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 7 | 社学 | 農からの地域連携（実習） Ⅰ | 早田　宰 他 | 2年以上 | 春学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 8 | 社学 | JA共済寄附講座　農からの地域連携（実習） Ⅱ | 早田　宰 他 | 2年以上 | 秋学期 | 水5時限 | 早稲田 | 2 | | |

### ★領域・分野d 「都市計画」

修了必要単位：４単位

| 項 | 設置学部・センター | 科　目　名　称 | 担当教員名 | 配当年次 | 学期 | 曜日時限 | キャンパス | 単位 | 志望理由 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 社学 | 公共事業論 | 卯月　盛夫 | 2年以上 | 秋学期 | 水4時限 | 早稲田 | 2 | | |
| 2 | 国際教養 | Social Design & Design Thinking for Urban Change　51 | ディマ　クリスティアン | 2年以上 | 秋学期 | 金3時限 | 早稲田 | 2 | | 自学部優先科目 |
| 3 | 創造 | 都市計画 | 有賀　隆 他 | 2年以上 | 秋学期 | 月1時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 4 | 創造 | 景観設計 | 後藤　春彦 | 3年以上 | 春学期 | 月4時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 5 | 創造 | 景観工学 | 佐々木　葉 | 2年以上 | 秋学期 | 水2時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 6 | 創造 | 都市計画 | 佐々木　邦明 | 3年以上 | 春学期 | 水3時限 | 西早稲田 | 2 | | |
| 7 | 創造 | 交通まちづくり | 森本　章倫 | 3年以上 | 秋学期 | 水2時限 | 西早稲田 | 2 | | |





2019年度_オープン科目履修ガイド-04本文_5k.mcd　Page 63　　19/02/15 10:59　v5.51